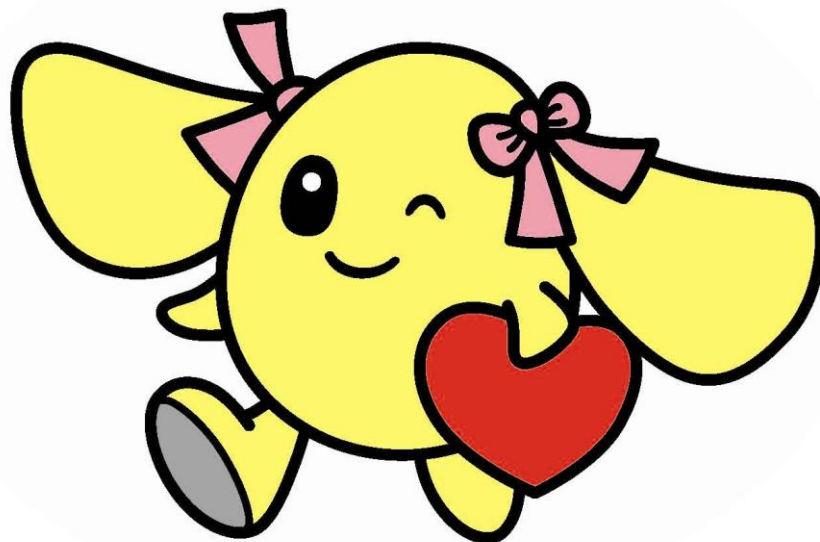


令和3年度

事業報告書



マスコットキャラクター **ふくぴい**

理事会承認 令和 4年 5月25日

定時評議員会承認 令和 4年 6月10日

社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会

目 次

概 況	1
I. 社会福祉事業	
1. 法人運営事業	4
2. 地域福祉事業	
（1）地域福祉事業	14
（2）成年後見支援事業	17
（3）共同募金配分金事業	19
（4）ボランティアセンター事業	23
3. 小口資金貸付事業	28
4. 受託事業	
（1）福祉サービス利用援助事業	28
（2）生活困窮者自立支援事業	30
（3）生活福祉資金貸付事業	33
（4）北部地域包括支援センター運営事業	34
（5）聴覚障害者コミュニケーション支援事業	35
5. 介護福祉事業	39
（1）訪問介護事業	41
（2）通所介護事業	43
6. 障害福祉事業	46
II. 公益事業	
1. 居宅介護支援事業	48
2. 指定管理施設運営事業	50
3. 公益受託事業	
（1）生きがい活動支援通所事業	51
（2）介護用品支給事業	52
（3）生活支援コーディネート事業	53
（4）軽度生活支援事業	54
III. 収益事業	
（1）会館運営事業	57
【資料編】	
1. 会 員	58
2. 役員、評議員、委員会、部会	58
3. 職 員	60
4. 会 議	61
5. 組織機構図	65

【概 況】

少子高齢化・核家族化の進行、人口減少などを背景に、ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯などが増加するとともに、家庭環境や地縁・血縁などの共同体の機能が脆弱化するなど、地域での課題解決が難しくなっています。

また、ひきこもりやDV、児童虐待、権利擁護、生活困窮などの従来の福祉制度の枠組みでの対応が困難な課題が増大するとともに多様化しています。

加えて、新型コロナウイルス感染症の拡大により日常生活は大きく変化するとともに、緊急事態宣言などにより、経済活動など様々な課題も発生し個人収入の減少や雇止めなどにより、新たな生活課題が発生しています。

このような中、本会は『あたたかい手 やさしい心で つなげよう福祉の輪』を理念に掲げ、地域福祉を推進する中核的な団体として、誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくりの実現を目指し、魚沼市における社会福祉事業などの様々な事業を通じて、地域福祉の向上に取り組みしました。

財政面では、新型コロナウイルスによる事業の中止や縮減、介護サービスにおける利用の制限などにより大変厳しい事業運営となりましたが、法人全体で資金収支ベースで 7,224 千円、事業活動では当期活動増減差額 5,861 千円を計上することができました。

◎ 総務部門

平成 29 年度に策定した「第 1 次中期経営計画」の計画の進捗と成果を確認しつつ、本会組織の強化を目指し、現状を踏まえた見直しを行いました。

また、直近の労働関係法令等の改正に伴い、関連する諸規程等を改正・整備し、併せて職場環境の改善を推進するとともに、コロナ禍においても理事会や評議員会、専門委員会等を開催し、効率的かつ適正・確実な法人運営が図られました。

◎ 地域福祉部門

コロナ禍において、事業の中止や縮小を余儀なくされる中、感染対策の徹底やオンラインを活用した交流事業など、コロナ禍における地域福祉活動を関係団体と協議しながら取り組みました。

相談支援においては、個人の尊厳と自己決定の尊重を基本にした、本人の希望に寄り添った支援が地域全体に根差すよう、意思決定支援の普及に努めました。

また、今年度から地域包括支援センター業務を受託し、北部圏域における高齢者支援の中核的な役割を担い、介護保険に限らない様々な相談に対応しました。

◎ 介護福祉部門

全国的な新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、感染症が発生した場合であっても、必要なサービスが継続的に提供できる体制を構築するため、感染症発生時における業務継続計画を策定しました。全体研修では業務継続計画の机上訓練を行い、事業所ごとに計画の見直しを行いました。

また、利用者の自立支援・重度化防止への取り組みとして、通所介護事業所では※科学的介護情報システム（LIFE）を活用し新たに科学的介護推進体制加算の算定を開始しました。

慢性的な人員不足への対応として、令和３年１０月より、伊米ヶ崎デイサービスセンターの定休日を１日増やし、土日定休としました。

※科学的介護情報システム（LIFE）とは、利用者の情報や介護サービス提供に関する内容のデータを厚生労働省へ提出することと、データ解析によるフィードバックの活用によって、科学的に裏付けられた介護の実現を目指しサービスの質の向上を図る取り組みをするためのシステム。

以下、令和３年度に掲げた事業計画区分ごとに報告します。

法人全体

単位:円

科 目	総 計		
	予算	決算	差異
会費収入	9,651,000	9,788,000	△ 137,000
経常経費寄附金収入	1,273,000	1,103,642	169,358
経常経費補助金収入	87,501,000	81,738,799	5,762,201
受託金収入	137,445,000	128,576,902	8,868,098
貸付事業収入	555,000	370,000	185,000
事業収入	7,824,000	7,081,231	742,769
介護保険事業収入	398,230,000	363,299,722	34,930,278
障害福祉サービス等事業収入	8,269,000	7,953,592	315,408
その他の事業収入	208,000	214,000	△ 6,000
受取利息配当金収入	70,000	8,546	61,454
その他の事業収入	2,584,000	2,110,922	473,078
事業活動収入計 (1)	653,610,000	602,245,356	51,364,644
人件費支出	505,510,000	449,015,681	56,494,319
事業費支出	145,058,000	122,222,186	22,835,814
事務費支出	24,897,000	12,998,227	11,898,773
利用者負担軽減額	4,000	0	4,000
その他の支出	1,066,000	967,788	98,212
貸付事業支出	300,000	220,000	80,000
助成金支出	605,000	604,000	1,000
流動資産評価損等による資金減少額	239,000	221,000	18,000
事業活動支出計 (2)	677,679,000	586,248,882	91,430,118
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	△ 24,069,000	15,996,474	△ 40,065,474
固定資産売却収入	0	100,000	△ 100,000
施設整備等収入計 (4)	0	100,000	△ 100,000
固定資産取得支出	1,888,000	955,900	932,100
ファイナンス・リース債務の返済支出	6,934,000	5,497,068	1,436,932
施設整備等支出計 (5)	8,822,000	6,452,968	2,369,032
施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)	△ 8,822,000	△ 6,352,968	△ 2,469,032
基金積立資産取崩収入	400,000	1,225,500	△ 825,500
その他の活動による収入	489,000	507,011	△ 18,011
その他の活動収入 計 (7)	889,000	1,732,511	△ 843,511
基金積立資産支出	500,000	1,295	498,705
積立資産支出	0	3,333	△ 3,333
その他の活動による支出	4,450,000	4,147,746	302,254
その他の活動支出 計 (8)	4,950,000	4,152,374	797,626
その他活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	△ 4,061,000	△ 2,419,863	△ 1,641,137
予 備 費 (10)	5,100,000	0	5,100,000
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△ 42,052,000	7,223,643	△ 49,275,643

I. 社会福祉事業

1. 法人運営事業

(1) 法人運営事業

① 組織基盤の確立

ア 執行機関等

理事会、評議員会及び委員会を適宜開催しました。

a 理事会

	期 日	会 場
第1回	5月26日	小出ボランティアセンター
第2回	6月11日	小出ボランティアセンター
第3回	7月 2日	小出ボランティアセンター
第4回	8月12日	小出ボランティアセンター
第5回	9月15日	小出ボランティアセンター
第6回	11月25日	小出ボランティアセンター
第7回	3月17日	小出ボランティアセンター

b 評議員会

	期 日	会 場	備 考
第1回	6月11日	小出ボランティアセンター	定時評議員会
第2回	12月 3日	小出ボランティアセンター	臨時評議員会
第3回	3月28日	小出ボランティアセンター	臨時評議員会

c 監査

	期 日	内 容	会 場
第1回	5月14日	令和2年度事業及び財務経理状況の監査	小出ボランティアセンター
第2回	11月12日	令和3年度上半期の事業及び財務監査	小出ボランティアセンター

d 評議員選任・解任委員会

	期 日	内 容	会 場
第1回	5月28日	魚沼市社会福祉協議会評議員の選任について	小出ボランティアセンター

e 役員研修の実施

期 日	内 容	会 場
10月20日	第71回新潟県民福祉大会（オンライン）	小出ボランティアセンター

イ 専門委員会の開催

本会の円滑な運営を図るため、適宜開催しました。

a 企画調整委員会

	期 日	内 容	会 場
第1回	5月17日	・新型コロナウイルス感染について情報交換 ・令和3年度社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会会費の収納について ・令和3年度社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会理事会案について	小出ボランティアセンター
第2回	7月2日	・本部事務局等について	小出ボランティアセンター
第3回	7月30日	・本部事務局等について ・再任用制度について ・中期経営計画変更計画について ・第2次中期経営計画（仮称）の策定について ・老人福祉大会について	小出ボランティアセンター
第4回	8月12日	・本部事務局等について ・中期経営計画変更計画について	小出ボランティアセンター
第5回	9月10日	・中期経営計画変更計画について ・事務局に関する方針説明会について ・伊米ヶ崎デイサービスセンター営業日の変更について ・発展強化計画について	小出ボランティアセンター
第6回	11月17日	・社会福祉法人魚沼市社化福祉協議会第6回理事会議案について ・社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会第2次中期経営（仮称）の策定について	小出ボランティアセンター
第7回	12月7日	・社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会第2次中期経営（仮称）の策定について	小出ボランティアセンター
第8回	2月9日	・社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会第2次中期経営（仮称）の策定について ・令和4年度職員体制について	小出ボランティアセンター
第9回	3月10日	・社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会第1次発展・強化計画の策定について ・第7回理事会議案について	小出ボランティアセンター

b 生活福祉資金貸付調査委員会

	期 日	内 容	会 場
第1回	5月20日	・貸付審査（福祉費 住宅補修に必要な経費）	小出ボランティアセンター
第2回	2月17日	・生活福祉資金（特例貸付含む）貸付状況及び	小出ボランティア

		償還状況 ・小口資金貸付状況及び償還状況	ィアセンター
--	--	-------------------------	--------

c 福祉サービス苦情解決情報交換会

	期 日	内 容	会 場
第 1 回	4 月 28 日	・苦情解決の仕組みについて ・情報提供及び報告事項 ・苦情解決に向けた取組について	小出ボランティアセンター

d 安全衛生委員会

	期 日	内 容	会 場
第 1 回	2月2日	・委員長の互選 ・報告事項（職員の健診、ストレスチェック、休業、労災） ・協議事項（職場巡視、今後の安全衛生委員会のあり方について）	小出ボランティアセンター

e 法人後見事業運営委員会

	期 日	内 容	開催場所
第 1 回	5 月 13 日	・正副委員長の選出 ・受任に関する審査（2 件） ・令和 2 年度事業報告について ・受任ケースの報告について	小出ボランティアセンター
第 2 回	8 月 19 日	・受任に関する審査（1 件） ・受任ケースの報告について	小出ボランティアセンター
第 3 回	11 月 18 日	・受任に関する審査（2 件） ・受任ケースの報告について	小出ボランティアセンター
第 4 回	2 月 17 日	・受任に関する審査（1 件） ・受任ケースの報告について	小出ボランティアセンター

f 住民参加型在宅福祉サービス事業運営委員会

	期 日	内 容	開催場所
第 1 回	6 月 23 日	・住民参加型在宅福祉サービス事業実績報告について ・魚沼市介護予防・日常生活支援総合事業訪問型サービスB	小出ボランティアセンター
第 2 回	9 月 17 日	・委員長、副委員長の選出について ・住民参加型在宅福祉サービス事業実績報告について ・配食サービス事業、地域の茶の間事業について	小出ボランティアセンター

第3回	3月11日	・住民参加型在宅福祉サービス事業実績報告について ・実利用者の推移について ・内容別サービス実施状況について	小出ボランティアセンター
-----	-------	--	--------------

ウ 中期経営計画の中間評価及び後期計画の実践

法人全体の経営分析を行うとともに、組織強化に向け中期経営計画・実行計画の評価を行いました。

a 企画調整委員会

	期 日	内 容	開催場所
第1回	7月30日	・中期経営計画・変更計画について	小出ボランティアセンター
第2回	9月10日	・中期経営変更計画について	小出ボランティアセンター
第3回	11月17日	・中期経営計画（仮称）の策定について	小出ボランティアセンター
第4回	12月 7日	・中期経営計画（仮称）の策定について	小出ボランティアセンター
第5回	2月 9日	・中期経営計画（仮称）の策定について	小出ボランティアセンター
第6回	3月10日	・第1次発展・強化計画について	小出ボランティアセンター

b 事務局会議

	期 日	内 容	開催場所
第1回	4月21日	・中期経営計画（仮称）の策定について	小出ボランティアセンター
第2回	7月 9日	・中期経営計画（仮称）の策定について	小出ボランティアセンター
第3回	7月26日	・中期経営計画（仮称）の策定について	小出ボランティアセンター
第4回	8月31日	・中期経営計画（仮称）の策定について	小出ボランティアセンター
第5回	9月 6日	・中期経営計画（仮称）の策定について	小出ボランティアセンター
第6回	9月27日	・中期経営計画（仮称）の策定について	小出ボランティアセンター
第7回	10月25日	・中期経営計画（仮称）の策定について	小出ボランティアセンター
第8回	11月22日	・中期経営計画（仮称）の策定について	小出ボランティアセンター
第9回	12月20日	・中期経営計画（仮称）の策定について	小出ボランティアセンター

			ィアセンター
--	--	--	--------

エ 職員資質向上の取り組み

組織内研修では、コロナ禍の中職員研修委員会による職員全体研修を行うとともに、県社協等の外部研修会には Web を中心に参加し職員の資質向上に努めました。

a 職員研修の実施

・職員全体研修会

	期 日	内 容	開催場所
第 1 回	11 月 15 日	研修：「リスクマネジメントとは？ ～いま求められているリスク対策を学ぼう～」 講師：SOMPO リスクマネジメント(株) 宮本 薫 氏	小出ボランティアセンター 他 web 活用 (動画視聴)
第 2 回	12 月 15 日	研修：「リスクマネジメントとは？ ～いま求められているリスク対策を学ぼう～」 講師：SOMPO リスクマネジメント(株) 宮本 薫 氏	小出ボランティアセンター 他 web 活用 (動画視聴)

・安全衛生委員会の企画による職員全員を対象とした研修会

	期 日	内 容	開催場所
第 1 回	11 月 9 日	演題：「日常に役立つ健康管理と腰痛予防体操」 講師：上村医院 院長 上村伯人 氏 NPO 法人 エンジョイスportsクラブ魚沼 健康運動指導士 星俊寛 氏	小出ボランティアセンター 他 web 活用

b 人事考課制度導入に向けた取り組み

	期 日	内 容	開催場所
第 1 回	4 月 27 日	仕事の洗出し表の整理、職務基準書の作成	小出ボランティアセンター
第 2 回	6 月 30 日	職務基準書の作成	小出ボランティアセンター
第 3 回	11 月 15 日	考課表の確認、考課表のウエイト付について	小出ボランティアセンター
第 4 回	2 月 7 日	人事考課制度 職員説明会	小出ボランティアセンター
第 5 回	2 月 28 日	人事考課制度 考課者研修	小出ボランティアセンター

c 資格手当の支給

d 個別面談の実施

e 実習生等の受入

- ・地域医療臨床研修医受入
- ・社会福祉士実習生の受入（1名、新潟青陵大学）

② 財政基盤の確立

ア 会員の加入促進

社協活動を支える最も大切な自主財源である社協会費は、減少傾向が続いています。

コロナ禍における経済状況の悪化がありながらも、一般会費は前年度 98.9%、特別会費は 92.1%となり、多くの市民、企業、団体等の協力を得ることが出来ました。今後も自治会を単位とする活動の推進、支援を強化することが住民の福祉意識の高揚を図り、会費収納増強につながると考えます。

a 一般会員加入実績

	本年度		前年度	
	会員数（人）	金額（円）	会員数（人）	金額（円）
堀之内	1,899	1,942,000	1,965	2,008,000
小 出	2,669	2,694,500	2,671	2,686,500
湯之谷	1,336	1,339,500	1,300	1,305,500
広 神	1,587	1,784,000	1,624	1,784,000
守 門	658	709,000	670	713,000
入広瀬	276	278,000	288	290,000
	8,425	8,747,000	8,518	8,787,000

b 特別会員加入実績

	本年度		前年度	
	会員数（人）	金額（円）	会員数（人）	金額（円）
堀之内	80	241,000	83	246,000
小 出	118	490,000	140	556,000
湯之谷	34	69,000	34	71,000
広 神	50	140,000	54	152,000
守 門	16	39,000	15	38,000
入広瀬	17	62,000	16	61,000
	315	1,041,000	342	1,124,000

イ 半期・年間経営分析の実施

年度半期での経営分析、監査を実施しました。

ウ 月次実績会議の開催

介護福祉事業では、月次会議を開催し収支分析を行うとともに経営状況を確認しました。

③ 広報活動の充実

機関誌の定期発行及びホームページ活用による広報及び啓発を行いました。

ア 会報「社協だより」(年4回発行)

号 数	発 効 日	備 考
第 75 号	令和3年 6月 25 日	全戸配布 特別会員郵送
第 76 号	令和3年 9月 25 日	
第 77 号	令和3年 12月 25 日	
第 78 号	令和4年 3月 25 日	

イ その他

- ・ホームページやフェイスブックの運用
- ・ラジオスポット放送や民間情報誌の活用
- ・マスコットキャラクター「ふくぴい」の活用
- ・マスコミ等への情報提供による新聞掲載
- ・魚沼市ホームページによる情報提供
- ・事業パンフレット等の効果的な活用

④ 関係機関・団体との連携協力

地域福祉・介護福祉事業の円滑な推進を図るとともに、地域の福祉課題の共有・解決に向け、関係機関・団体との連携・協力を行いました。

ア 共同募金事業への協力

会費同様、共同募金額の実績が年々減少してきているため、配分金で実施している事業の必要性を広くPRするとともに、より効率的な事業執行に努めました。

a 新潟県共同募金会評議員会の開催

	期 日	内 容	会 場
定 時	6月29日	・令和2年度事業報告に関する件 ・令和2年度決算に関する件 ・役員（理事・監事）の選任に関する件 ・令和3年度赤い羽根全国キャンペーンの実施に関する件	小出ボランティアセンター (Zoom)
臨 時	3月24日	・令和3年度募金実績及び助成に関する件 ・推進計画・実行計画の改定に関する件 ・令和4年度事業計画及び予算に関する件	小出ボランティアセンター (Zoom)

b 魚沼市共同募金委員会運営委員会の開催

	期 日	内 容	会 場
第 1 回	5月26日	・令和2年度魚沼市共同募金委員会事業報告及び収支決算について ・令和3年度魚沼市共同募金委員会事業計画（案）及び収支予算（案）について ・魚沼市共同募金委員会運営委員の選任について	小出ボランティアセンター

		・魚沼市共同募金委員会監査人の選任について ・魚沼市共同募金委員会助成審査委員会委員の選任について	
--	--	--	--

c 助成審査委員会の開催

	期 日	内 容	会 場
第 1 回	7 月 19 日	・令和 3 年度福祉団体及びボランティア団体の助成申請内容審査について ・令和 3 年度魚沼市社会福祉協議会の地域助成申請内容審査について	小出ボランティアセンター

d 連合自治会長会議、嘱託員会議での啓発活動

例年実施されている、連合自治会長・嘱託員会議がコロナ禍により中止となりできませんでした。

イ その他、関係機関・団体との連携協力

地域福祉・介護福祉事業の円滑な推進を図るとともに、地域の福祉課題の共有・解決に向け、関係機関・団体との連携・協力を行いました。

a 保健・医療・福祉ネットワークへの参画

- ・行政・社協・民児協三者懇談会 1 回（7/21）
- ・魚沼市相談機関ネットワーク会議 1 回（7/28）
- ・新型コロナウイルス感染拡大下における社会福祉協議会の持続可能な事業活動推進体制構築事業ワーキングチーム 6 回（4/23、6/9、8/3、10/15、12/6、2/24）
- ・新潟県内社協職員連絡会 4 回（9/27、10/18、11/12、3/10）
- ・魚沼市 ICT 推進計画検討委員会 1 回（9/22）
- ・魚沼市高齢者等見守り支援ネットワーク会議 1 回（8/31）
- ・在宅医療推進センターワーキングチーム会議 2 回（7/28、11/10）
- ・魚沼市委託事業受託事業機関打合せ 1 回（6/2）
- ・精神保健福祉ケース検討会 1 回（7/7）
- ・魚沼市自立支援協議会全体会 1 回（5/31※書面開催、3/23）

ウ 魚沼市民生委員児童委員協議会との連携

- ・生活福祉資金及び小口資金貸付事業の推進、意見書作成等の協力
- ・除雪援助事業、ふれあい配食サービス事業の該当者の受付及び推進等の協力
- ・共同募金運動の協力
- ・地域福祉活動等の推進及び協力
- ・地区民生委員児童委員協議会活動との連携

エ その他の関係機関・関係団体との連携、協力等

魚沼福祉会、魚野福祉会、魚沼更生福祉会、魚沼地域福祉会、家族会
身体障害者福祉協議会、手をつなぐ育成会、遺族会、老人クラブ連合会ほか

(2) ふれあい講座事業

地域住民・自治会・団体等が主催する集会等に職員を講師として派遣し、地域福祉活動に関する説明又は職務に関連して習得した専門知識・技能を活かした講座等を行いました。

	開催日	講座名（テーマ）	依頼団体	参加者数
1	5月20日	福祉のお話	須原小学校	19人
2	5月26日	高齢者の生活のしづらさ理解する	湯之谷小学校	43人
3	6月15日	赤い羽根共同募金について	小出小学校ボランティア委員会	13人
4	7月21、26日	エンディングノートの活用方法	うおの園	40人
5	7月19日	身寄りのない人の支援について	堀之内地区民生委員児童委員協議会	18人
6	8月28日	社協の概要、あいほうし隊の実情について	みどりコミュニティ	14人
7	9月6日	福祉学習（福祉体験）	伊米ヶ崎小学校	11人
8	10月6日	高齢者疑似体験	小出特別支援学校	11人
合 計				169人
前年度（10回）				135人

(3) 火災等被災者への見舞い

火災等の発生により直接被害を受けた個人又は世帯に対し、見舞金を支給しました。

- ・全焼 1件（前年度 1件） ・半焼 0件（前年度 0件）
- ・床上浸水 0件（前年度 0件）

【事業の成果】

本会の重要な事業計画・予算、役員等改選及び諸規程等改正の審議のため、適宜理事会、評議員会等を開催し、効率的かつ適正・確実な法人運営が図られました。

また、職員に対する各種研修等において、新型コロナウイルス感染防止に配慮した研修開催や必要な機器を整備した上でのオンデマンドやオンラインによる研修を進めました。

【今後の課題】

本会の運営基盤となる組織、財務、事業における課題、将来の方向性を明らかにし、必要な取り組みを計画的に推進することにより、経営の安定化を図り、地域福祉を推進する中核的な団体として将来にわたり、役割を十分果たせるよう、市・福祉団体・ボランティア団体等、幅広い見地からの意見を聴取するため、策定委員会を組織し、「第1次発展・強化計画」を策定します。

法人運営事業

単位:円

科 目	法人運営		
	予算	決算	差異
会費収入	5,592,000	6,311,000	△ 719,000
経常経費寄附金収入	600,000	578,687	21,313
経常経費補助金収入	28,926,000	30,268,000	△ 1,342,000
受取利息配当金収入	60,000	6,013	53,987
その他の事業収入	494,000	149,450	344,550
事業活動収入計 (1)	35,672,000	37,313,150	△ 1,641,150
人件費支出	32,860,000	30,999,291	1,860,709
事業費支出	1,402,000	1,350,663	51,337
事務費支出	15,145,000	5,892,356	9,252,644
事業活動支出計 (2)	49,407,000	38,242,310	11,164,690
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	△ 13,735,000	△ 929,160	△ 12,805,840
施設整備等収入計 (4)	0	0	0
固定資産取得支出	400,000	326,700	73,300
ファイナンス・リース債務の返済支出	1,500,000	128,040	1,371,960
施設整備等支出計 (5)	1,900,000	454,740	1,445,260
施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)	△ 1,900,000	△ 454,740	△ 1,445,260
積立資産取崩収入		342,000	△ 342,000
その他の活動による収入		146,761	△ 146,761
その他の活動収入 計 (7)	0	488,761	△ 488,761
基金積立資産支出	500,000	1,295	498,705
積立資産支出	0	800	△ 800
事業区分間繰入金支出	5,831,000	2,166,846	3,664,154
拠点区分間繰入金支出	1,300,000	309,028	990,972
その他の活動による支出	449,000	442,080	6,920
その他の活動支出 計 (8)	8,080,000	2,920,049	5,159,951
その他活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	△ 8,080,000	△ 2,431,288	△ 5,648,712
予 備 費 (10)	500,000	0	500,000
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△ 24,215,000	△ 3,815,188	△ 20,399,812

2. 地域福祉事業

(1) 地域福祉事業

① 魚沼市地域福祉推進計画の推進

ア 意識調査の実施

調査対象	市内在住の 18 歳以上の方 1,000 人を対象にアンケート調査を実施
調査期間	令和 4 年 2 月から令和 4 年 3 月
調査方法	郵送配布、郵送回収
回収状況	回収率：560 人（回収率：56.0%）

イ 事務局会議

	期 日	内 容	開催場所
第 1 回	2 月 4 日	・地域福祉推進計画とは ・地域福祉計画と地域福祉活動計画との関係 ・策定委員会の役割とは	小出ボランティアセンター
第 2 回	2 月 22 日	・ロードマップ、組織体制について ・現計画と事業の紐付け ・現計画の振り返り	小出ボランティアセンター
第 3 回	3 月 9 日	・組織体制の確認 ・現計画と事業の紐付け ・地域福祉活動計画とは	小出ボランティアセンター
第 4 回	3 月 24 日	・現計画の振り返り ・ロジックモデル作成体験ワークショップ ・策定の目的や原則について ・策定委員会のあり方、人選の検討に向けて	小出ボランティアセンター

② 地域福祉分野における ICT 利活用

ア kintone（web データベース型の業務アプリ構築クラウドサービス）導入による業務改善（職員行動記録のデータ化、情報共有、業務の簡素化など）

イ Web 会議（zoom）による頻繁かつ短時間での打ち合わせ

ウ Google フォーム活用によるアンケート集計（業務時間の短縮）

③ 事務局相談

多様化する生活課題に 대응するため、関係機関の協力を得て事務局相談を行いました。

ア 相談援助件数

a 課題別件数

	件 数
病気や健康・障害のこと	1,219
居住（住まい）のこと	245
生計（収入・生活費）のこと	1,863
税金や公共料金の支払いのこと	142
債務のこと	319
仕事探し・就職のこと	211

仕事上のトラブルのこと	194
地域との関係のこと	363
家族との関係のこと	145
子育てのこと	13
ひきこもり・不登校のこと	42
虐待・DVのこと	135
食べ物がいないこと	60
家事・生活支援のこと	1,034
移動・外出支援のこと	162
書類等の手続きのこと	275
介護・介助のこと	336
認知症のこと	238
除雪のこと	261
空き家のこと	7
仲間と気軽に集まる場所・機会がないこと	117
話し相手・相談相手がいらないこと	103
担い手がいらないこと	73
合 計	7,557

b 相談経路

	件 数
本人	1,443
家族	330
地域住民	521
民生委員・児童委員	459
福祉団体	43
行政	245
集落支援員	13
地域包括支援センター	147
介護保険事業所	394
障害福祉サービス事業所	214
医療機関	54
法律関係	36
学校	58
合 計	3,957

④ 関係機関・関係団体との連携・協力

本会の事業と相互協力できる関係づくりに努めました。

ア 新潟県共同募金委員会魚沼市支会との連携・協力

イ 魚沼市民生委員児童委員協議会との連携・協力

ウ 魚沼市ボランティア連絡協議会との連携・協力

⑤ 市内社会福祉法人の連携・協働

新型コロナウイルスの感染拡大により、情報交換等の会議を開催することはできませんでした。

【事業の成果】

多様化・複雑化する地域の課題に対応するため、他の専門職や地域住民と十分な連携・協働を図りながら、役割を担ってきました。また、慢性的な職員不足等を解決する一つのツールとして、日々の業務や活動を間接的に支援するため、ICTを活用した取り組みを進めました。

【今後の課題】

今後の地域福祉推進のためには、行政や地域住民などと協働することがさらに求められ、そのためにはミッションの共有が不可欠となります。地域の情報を蓄積・分析するため、ヒアリング調査を実施するとともに、ICTを利活用した取り組みを引き続き行います。

地域福祉事業

単位：円

科 目	地域福祉		
	予算	決算	差異
会費収入	3,375,000	3,375,000	0
経常経費寄附金収入	670,000	509,430	160,570
経常経費補助金収入	49,100,000	42,000,000	7,100,000
事業収入	0	0	0
その他の事業収入	370,000	264,830	105,170
事業活動収入計 (1)	53,515,000	46,149,260	7,365,740
人件費支出	49,200,000	40,092,239	9,107,761
事業費支出	4,040,000	3,595,529	444,471
事務費支出	350,000	261,392	88,608
支払利息支出			0
事業活動支出計 (2)	53,590,000	43,949,160	9,640,840
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	△ 75,000	2,200,100	△ 2,275,100
施設整備等収入計 (4)	0	0	0
施設整備等支出計 (5)	0	0	0
施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)	0	0	0
積立資産取崩収入	0	0	0
事業区分間繰入金収入	1,623,000	0	1,623,000
その他の活動による収入	0	0	0
その他の活動収入 計 (7)	1,623,000	0	1,623,000
サービス区分間繰入金支出	0	0	0
その他の活動による支出	2,148,000	1,986,300	161,700
その他の活動支出 計 (8)	2,148,000	1,986,300	161,700
その他活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	△ 525,000	△ 1,986,300	1,461,300
予 備 費 (10)	0	0	0
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△ 600,000	213,800	△ 813,800

(2) 成年後見支援事業

① 相談及び申立手続きの支援

	相談件数（延べ）
制度説明	14 件
申立全般に関する相談	14 件
親族後見支援	0 件
カンファレンス出席	3 件
後見人等候補者の依頼（受任依頼）	3 件
継続支援（定期訪問、諸手続き）	513 件
計	547 件

② 普及啓発

ア 成年後見勉強会（基礎編）

※講師：社協職員

期 日	内 容	参加者数	会場
7月17日	・成年後見制度のしくみについて ・相談会（1件）	9 人	小出ボランティアセンター
12月18日	・成年後見制度のしくみについて ・相談会（希望なし）	6 人	小出郷福祉センター

イ 映画上映会

期 日	内 容	参加者数	会場
7月 3日	・映画「道草」上映 ・障がいのある方の作品展示	38 人	小出郷文化会館

ウ 親なきあと勉強会

期 日	内 容	参加者数	会場
8月21日	・「親なきあとのお金と住まい」ぜんち共済オンラインセミナー視聴 ・座談会（講師：櫻井賢行政政書士）	2 人	小出ボランティアセンター

エ 意思決定支援研修会（全3回コース）

講師：一般社団法人日本意思決定支援ネットワーク

期 日	内 容	参加者数	会場
8月27日	意思決定支援とは？	59 人	小出ボランティアセンター
9月16日	トーキングマットってなんだろう？	58 人	小出ボランティアセンター
10月8日	トーキングマットを使ってみよう！	50 人	小出ボランティアセンター

			ター
--	--	--	----

ウ 身寄りのない人への支援に関するガイドラインの普及

- a 講師派遣 11 回（地区民事協5回、外部団体 5 回、内部研修 1 回）
- b 活用講座の開催 2 回 参加者 11 人（10/12、10/29）
- c 活用状況アンケート調査（市内 100 事業所に送付。148 件回収）

エ その他

- a 視察受け入れ 特定非営利法人カシオペア権利擁護支援センター
- b 講師派遣 2 回（9/28 消費生活サポーター養成講座、1/26 楽想講座）

③ 法人後見等の受任

ア 受任状況

	後見	保佐	補助	計
認知症高齢者	2 件	1 件	0 件	3 件
知的障がい者	8 件	1 件	0 件	9 件
精神障がい者	0 件	0 件	0 件	0 件
計	10 件	2 件	0 件	12 件
前年度	7 件	1 件	0 件	8 件

※新規受任件数 7 件（後見 6 件、保佐 1 件）※前年度 1 件

※終了件数 3 件（後見 3 件）※前年度 1 件

イ 法人後見事業運営委員会

有識者（医師、弁護士、司法書士、社会福祉士、行政機関）で構成する運営委員会を開催し、法人後見事業の取り組みに関する助言や指導、社協を成年後見人等候補者とする申立ての適否などの審査を受けました。

- ・第 1 回 5/13 受任ケース報告、受任に関する審査 2 件
- ・第 2 回 8/19 受任ケース報告、受任に関する審査 1 件
- ・第 3 回 11/11 受任ケース報告、受任に関する審査 2 件
- ・第 4 回 2/17 受任ケース報告、受任に関する審査 1 件

④ うおぬま・米ねっとの活用

権利擁護支援係としてうおぬま・米ねっとに参加し関係機関との情報共有に努めました。

⑤ 会議等

- ・全国権利擁護支援ネットワーク運営委員会（4/24、8/28、1/15）※オンライン
- ・成年後見制度法人後見推進研修会（7/14 オンライン）
- ・法人後見実施団体等による意見交換会（8/18 オンライン）
- ・全国権利擁護支援ネットワーク北信越ブロック交流会（9/29）※オンライン
- ・法人後見専門員スキルアップ研修（2/2 オンライン）
- ・成年後見制度に関する意見交換会（3/2 オンライン）
- ・死後事務委任契約等の検討（7/9NPO法人十いろ視察、オンライン勉強会）

【事業の成果】

本会が成年後見制度の窓口として周知されてきたことと、相談受付から申立てまでの支援を円滑に行える体制が整ったことにより、受任件数が大きく増加しました。また、新型コロナウイルスの影響もあり、本人死亡後の手続等を親族に代わって行うケースが増えました。親族等に頼れない方が増えている中、本会の法人後見はその受け皿としての期待にも応えています。

【今後の課題】

身寄りのない人への支援に関するガイドラインの活用状況を調査したところ、周知不足の課題が明らかになりました。身寄り問題と意思決定の問題は重なる部分が多くあることから、今後は意思決定支援の普及と一体的にガイドラインの普及に取り組みます。

地域福祉事業

単位：円

科 目	成年後見支援		
	予算	決算	差異
受託金収入	990,000	990,000	0
事業収入	2,196,000	2,061,000	135,000
その他の収入	100,000	119,460	△ 19,460
事業活動収入計 (1)	3,286,000	3,170,460	115,540
人件費支出	1,838,000	919,000	919,000
事業費支出	1,594,000	1,295,731	298,269
事務費支出	254,000	174,600	79,400
事業活動支出計 (2)	3,686,000	2,389,331	1,296,669
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	△ 400,000	781,129	△ 1,181,129
予 備 費 (10)	0	0	0
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△ 400,000	781,129	△ 1,181,129

(3) 共同募金配分金事業

① 地域の茶の間事業の実施

高齢者や障害者、子育て中の親子等が、地域の中で気軽に出かけられる小規模な憩いの場づくりを目指し、町内（集落）、民生児童委員、ボランティア等によって行われる交流活動を支援しました。

活動費の助成 44 団体

【事業活動支出額 604,000 円】

団 体 名	地区	開催回数	延参加者数	新規
脳はつらつスマイルクラブ	堀之内	24 回	258 人	
城下お茶会	堀之内	2 回	74 人	
城下はつらつ会	堀之内	7 回	87 人	
白山茶話会	堀之内	2 回	34 人	
クローバ会	堀之内	1 回	11 人	
すみれ会	小 出	1 回	19 人	
たんぽぽの会	小 出	4 回	39 人	
のんびりサロン	小 出	3 回	50 人	
佐梨友愛ボランティア	小 出	4 回	59 人	
地域友愛ボランティア(13 班)	小 出	3 回	85 人	

なごみの会	小 出	1 回	5 人	
大浦茶の間会	小 出	1 回	14 人	
十日町茶の間会	小 出	5 回	45 人	
茶の間「ゆうあい」	小 出	3 回	43 人	
じょんのびサロン	湯之谷	2 回	36 人	
大沢さわやかひろば	湯之谷	4 回	132 人	
葎沢みんなの茶の間	湯之谷	6 回	115 人	
湯之谷芋川茶の間会	湯之谷	4 回	30 人	
宇津野こぶし会	湯之谷	3 回	21 人	
結の会（下折立）	湯之谷	7 回	98 人	
上折立シニアお茶クラブ	湯之谷	8 回	45 人	
雪華の会	湯之谷	7 回	60 人	
たなか茶話会	広神	5 回	66 人	
老笑会	広神	2 回	17 人	
雁坂下茶ノ間ノ会	広神	6 回	87 人	
小平尾茶の間会	広神	4 回	99 人	
ひまわりの茶の間	広神	4 回	75 人	
和田絆の会	広神	13 回	91 人	
ふれあい茶の間	広神	11 回	101 人	
はつらつ会	広神	29 回	306 人	
池平のお茶の間	広神	2 回	19 人	
西村お茶会	守門	3 回	46 人	
宮原いきいきクラブ	守門	6 回	92 人	
福山新田地域の茶の間「よらん会」	守門	6 回	84 人	
長島長生き会	守門	4 回	71 人	
荒貫ふれあいの会	守門	5 回	31 人	
笑宿	守門	3 回	22 人	
二分お茶の会	守門	5 回	40 人	
柿の木お茶会サロン	入広瀬	3 回	15 人	
大栃山楽茶の会	入広瀬	4 回	48 人	
とわの会	入広瀬	6 回	46 人	
横根お茶会	入広瀬	3 回	36 人	
仲良し会	入広瀬	2 回	18 人	
大白川お茶会	入広瀬	5 回	64 人	
合 計		233 回	2,834 人	
前年度		284 回	3,744 人	

ア 新型コロナウイルス感染拡大に伴う対応

a 開催中止の依頼（助成金の対象外）

下記期間については助成金の対象外とし、開催の中止依頼を各団体に送付しました。

- ・ 4月9日から6月30日（83日間）
- ・ 7月20日から9月30日（73日間）

b 意見交換会の実施

地域の茶の間事業再開にあたって意見交換を行いました。

地区	開催日	開催場所	参加者
堀之内	10月21日	堀之内社会福祉センター	7人
小 出	10月14日	小出ボランティアセンター	16人
湯之谷	10月13日	小出ボランティアセンター	9人
広 神	10月5日	広神老人福祉センター	6人
守 門	9月22日	守門健康センター	9人
入広瀬	9月24日	入広瀬保健センター	8人

② 新入学生記念品贈呈事業

市内の小学校に入学する児童に対し、新入学のお祝いと登・下校時の交通安全の願いをこめて記念品（体操着袋）を贈呈しました。

学校名	個数	学校名	個数
堀之内小学校	34個	広神東小学校	31個
宇賀地小学校	9個	広神西小学校	13個
小出小学校	59個	須原小学校	16個
伊米ヶ崎小学校	14個	入広瀬小学校	1個
湯之谷小学校	47個	小出特別支援学校	3個

③ ふれあい配食サービス事業

高齢者世帯や障がい者世帯等に対し、ボランティアによる配食サービスを実施することにより見守りと安否確認を行いました。

ア 実利用者数

	堀之内	小 出	湯之谷	広 神	守 門	入広瀬	合計	前年度
4月	46	55	41	39	41	16	238	246
5月	48	54	39	39	39	17	236	244
6月	50	56	39	39	38	19	241	244
7月	47	56	39	37	40	16	235	244
8月	44	53	39	35	46	18	235	242
9月	46	55	39	36	43	17	236	243
10月	46	50	39	39	44	16	234	242
11月	44	51	37	41	45	13	231	238
12月	42	54	34	38	43	16	227	245
1月	42	56	34	36	47	14	229	241
2月	42	53	37	34	45	15	226	241
3月	45	51	35	36	51	16	234	236

イ 意見交換会の実施

調理ボランティアの活動再開に向けた意見交換を行いました。

地区	開催日	開催場所	参加者
堀之内	11月2日	堀之内社会福祉センター	7人

小 出	11月8日	小出ボランティアセンター	10人
湯之谷	11月2日	小出ボランティアセンター	9人
広 神	10月27日	広神老人福祉センター	8人
守 門	10月26日	守門健康センター	9人
入広瀬	10月21日	入広瀬保健センター	11人

ウ 研修会の実施

ふれあい配食サービス事業調理ボランティア研修会（1/17,1/18 オンライン研修）

参加者数 79 人

エ その他（新型コロナウイルスの感染拡大に伴う対応）

調理ボランティアによる調理を休止し、市内業者に昼食弁当の依頼を行いました。

④ 障がい者ふれあいクリスマス会

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、事業の開催を中止しました。

⑤ その他（広報誌の発行）

「社協だより」を年 4 回発行し、市内全戸に配布しました。

【事業の成果】

コロナ禍でもできることを模索し、地域の茶の間では運営マニュアル及び感染症対策チェックリストを作成して、10 月から活動を再開しました。また、配食サービスでは、市内業者や配達ボランティアの協力により、継続して実施することができました。

【今後の課題】

それぞれの活動における感染症対策を検討するとともに、今までのつながりや活動を再開するための準備を行っていきます。コロナ禍でも地域住民が安心して参加出来るよう情報共有を行いながら事業を展開していきます。

地域福祉事業

単位：円

科 目	共同募金配分金		
	予算	決算	差異
経常経費補助金収入	7,753,000	7,752,799	201
事業収入	3,638,000	3,197,700	440,300
事業活動収入計（1）	11,391,000	10,950,499	440,501
事業費支出	9,658,000	9,216,711	441,289
事務費支出	162,000	162,000	0
その他の支出	1,066,000	967,788	98,212
助成金支出	605,000	604,000	1,000
事業活動支出計（2）	11,491,000	10,950,499	540,501
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	△ 100,000	0	△ 100,000
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△ 100,000	0	△ 100,000

(4) ボランティアセンター事業

地域福祉推進の要であるボランティア活動を推進するため、様々な機会を通じてボランティア活動に対する住民の関心を高め、住民ニーズを積極的に収集するとともに、活動に際して必要な援助を行うことにより、ボランティア活動に参加できる体制の整備を行いました。

① ボランティアセンターの充実

ア ボランティア登録・調整

- a 登録 855 件（新規 52 件）
- b 調整 60 件（相談・マッチング・打合せ含む）
- c ボランティア保険加入促進

ボランティアが安心して活動に取り組むことができるよう、活動中の事故によるけがや賠償責任などに対応したボランティア保険の加入を促進しました。

- ・登録ボランティア：「ボランティア活動保険」加入（26 件）
- ・登録ボランティア：「送迎サービス補償」加入（1 件）
- ・単独実施事業等：「ボランティア活動行事保険」加入（1 件）
- ・グループホーム等：「福祉サービス総合補償」加入（1 件）

イ ボランティアグループ活動支援

魚沼市ボランティア連絡協議会との連携により、加盟ボランティアへの情報提供、活動支援、各種協働事業を実施しました。

ウ 各種収集活動の啓発

地域住民から集まった、使用済み切手、使用済みテレホンカード、書き損じ（未使用）ハガキ、外国のコインなどをユニセフなどの福祉団体に寄付しました。

エ ボランティア活動器材の貸出

備品名	件数
パイプ椅子	4 件（42 脚）
ボッチャ	22 件（39 セット）
ビンゴ	1 件（1 セット）
計	52 件

オ 24 時間テレビ 44「愛は地球を救う」チャリティー募金活動

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、街頭募金を中止することとしました。

- ・募金受付日：令和 3 年 8 月 23 日
- ・募 金 額：40,716 円（前年度 18,490 円）
- ・受付窓口：社会福祉協議会各支所

カ その他

a ひとり親世帯応援企画

新型コロナウイルスの影響で困っているひとり親世帯を対象に、お米（5kg）支援を実施しました。

実施期間	配布世帯数
------	-------

7月12日～7月17日	63世帯
8月10日～8月13日	56世帯

b いがた Ribbon net への協力

新型コロナウイルス感染拡大による影響などにより、孤独・孤立、離職、DV、生活困窮など、様々な困りごとや不安を抱える女性を支援するため、各種相談窓口のリーフレットや生理用品等の配布を行いました。(35セット)

② 福祉教育の推進

ア ボランティアスクールの開催

新型コロナウイルスにより地域交流が難しくなっている中、新たな形での交流・取組みを検討し実施しました。

a 事前学習会(7/1, 小出中学校)

- ・ボランティア活動の心構え
- ・活動メニューの紹介と活動のポイント

b 取組内容

- ・実施日：7月29日、7月30日、8月4日、8月20日
- ・内 容：伊米ヶ崎デイサービスセンターの利用者とリモート交流、メッセージポスターの作成(市内5施設に応援ポスターの掲示)、絵手紙の作成(見守りや安否確認が必要な高齢者や障がい者等に応援メッセージを届ける。)
- ・参加者：111人

イ 福祉学習支援の実施

a 小中学校へのボランティア学習支援

実施日	学 校 等	学年	内 容	参加者
4月26日	湯之谷小学校	4 学年	福祉講話、アイマスク体験	79人
5月20日	須原小学校	4 学年	福祉講話	19人
6月18日	小出小学校	2 学年	絵手紙作成	79人
9月6日	伊米ヶ崎小学校	6 学年	福祉講話、車いす体験、アイマスク体験	11人
10月6日	小出特別支援学校	高等部	高齢者疑似体験	11人
10月13日	湯之谷小学校	4 学年	湯之谷デイサービスセンターとのオンライン交流会	79人
10月15日	堀之内小学校	JRC 委員会	共同募金の使い道と目的	12人
2月16日	湯之谷小学校	4 学年	湯之谷デイサービスセンターとのオンライン交流会	79人

ウ 「「まち」の仕事発見塾」への参加(9/17, 魚沼市地域振興センター)

市内中学校1年生297人を対象に企業説明(17社出展)

エ 職場体験学習に伴う生徒(小出中学校2年生)の受入(9/15-16)

オ コミュニティスクールへの協力

堀之内小学校	8月30日 10月12日 2月21日	地域向け説明会 地域向け説明会 コミュニティスクール準備会
小出小学校	9月3日	学校運営協議会

③ 災害時の支援体制の充実

ア 平常時における関係機関との連携強化

a 災害時における相互協力に伴う情報交換会

	期 日	内 容	開催場所
第1回	4月30日	・災害ボランティアセンターの役割と運営について ・実際に災害が発生した場合、自団体としてできること ・コーディネート 李 仁鉄 氏	小出ボランティアセンター
第2回	11月30日	・災害時における運営課題への検討と自団体としての役割の具現化 ・来年度の取組みに向けて	小出ボランティアセンター

b 三魚沼地区社会福祉協議会災害担当者会議

	期 日	内 容	開催場所
第1回	8月25日	・運営に係る経費の取り扱いについて ・職員研修について	小出ボランティアセンター
第2回	2月4日	・今後の運営に係る経費の取り扱いについて	オンライン

c 合同訓練

- ・十日町社会福祉協議会災害ボランティアセンター設置訓練（10/11、十日町市）
- ・遠隔地を結ぶ災害ボランティアセンター運営訓練（2/26、オンライン）

イ 災害支援コーディネーターの養成

災害時の効果的な支援体制を確立するため、新潟県災害ボランティア調整会議が主催する人材養成への取組みに運営委員として参画しました。

	期 日	内 容	開催場所
第1回	7月19日	災害支援コーディネーター養成研修運営会議	オンライン会議
第2回	9月1日	災害支援コーディネーター養成研修運営会議	オンライン会議
第3回	9月24日	災害支援コーディネーター養成研修運営会議	オンライン会議
第4回	10月22日	災害支援コーディネーター養成研修運営会議	オンライン会議
第5回	12月9日	災害支援コーディネーター養成研修運営会議委員会議	新潟ユニゾンプラザ

第6回	12月16日 ～17日	災害支援コーディネーター養成研 修（初級）	新潟ユニゾンプラザ
第7回	1月31日 ～2月1日	災害支援コーディネーター養成研 修（中級）	オンライン会議
第8回	2月25日	災害支援コーディネーター養成研 修（上級）	オンライン会議

④ 福祉施設協働事業

社会福祉施設との協働事業を円滑に進めるため、施設との連絡調整を行いながら、市民のボランティア活動への積極的な参加を促す計画でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、事業を中止することとしました。

⑤ 住民参加型在宅福祉サービス事業（あいほうし隊）

住民相互の助け合い活動を目的として、地域みんなで生活を支え合う有償サービスのシステムづくりを行いました。

ア 相談及び調整

a 実施件数

	件数
本年度	209件
前年度	97件

b 登録状況

	利用者	活動者
本年度	47人	68人
前年度	38人	59人

c 活動内容

内 容	本年度	前年度
電球換え	2件	1件
灯油入れ	43件	23件
家具の移動	5件	1件
簡単な修繕大工	2件	1件
掃除	91件	64件
草取り	31件	8件
花の水やり	6件	4件
ゴミ出し	38件	7件
見守り、話し相手	70件	39件
通院介助	7件	0件
代筆・代読	7件	4件
買い物	67件	41件
薬とり	9件	8件
日用品等の代金を支払う手続き	1件	3件

その他	55 件	25 件
合 計	434 件	229 件

※その他・・・電池替え、畑の手伝い、精米、蛇口確認、おむつ捨て、エアコン掃除、
こたつの片づけ、布団衣替え、ストーブ片づけ、扇風機設置、花壇の手伝い、
シーツ交換、簾付け直し、コインランドリー、はがきの説明

イ 広報・普及啓発

- ・ポケットティッシュの設置、配布（堀之内公民館 35 個、若返りトレーニング教室 15 個）

ウ 関係機関との情報交換会

- ・南魚沼なじもネット会員研修会（5/13、南魚沼市）

【事業の成果】

新型コロナウイルスで困っているひとり親世帯を対象にボランティアや行政の協力を得て、お米や生理用品の配布を行いました。福祉教育の推進については、市内中学校とコロナ禍における新たな形での交流・取り組みを話し合い実施しました。災害時の備えでは、平常時におけるネットワークのあり方を関係者とともに検討し、市内全域の災害支援力を向上するため、情報交換会を実施しました。

【今後の課題】

地域福祉活動やボランティア活動における感染対策を検証し、コロナ禍でも地域住民が安心してボランティア活動が展開出来るよう新しい取り組みの可能性を検討するとともに、情報の発信を行っていきます。また、コロナ禍での災害発生に備えた取り組みについても引き続き進めていきます。

地域福祉事業

単位：円

科 目	ボランティアセンター		
	予算	決算	差異
会費収入	684,000	102,000	582,000
分担金収入	0	0	0
経常経費寄附金収入	0	3,000	△ 3,000
事業収入	120,000	141,270	△ 21,270
その他の事業収入	96,000	71,604	24,396
事業活動収入計（1）	900,000	317,874	582,126
事業費支出	555,000	392,003	162,997
事務費支出	65,000	26,080	38,920
事業活動支出計（2）	620,000	418,083	201,917
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	280,000	△ 100,209	380,209
予 備 費（10）	300,000	0	300,000
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△ 20,000	△ 100,209	80,209

3. 小口資金貸付事業

低所得者世帯に対し、資金の貸付と必要な援助を行い、経済的自立や生活の安定を支援しました。

	貸付件数	貸付金額	備 考
本年度	6 件	220,000 円	償還免除（6 件 221,000 円）
前年度	6 件	165,000 円	

【事業の成果】

次の収入までのつなぎやライフラインの維持のために利用され、生活再建の一助となっています。また、計画的な償還が出来ず滞納になっている世帯に対しては、生活状況を確認し必要な援助を行いました。

【今後の課題】

長期滞納者も多く、民生児童委員や関係機関等と協力し、相談・支援を継続的に取り組んでいきます。

小口資金貸付金事業

単位：円

科 目	小口資金貸付		
	予算	決算	差異
貸付事業収入	555,000	370,000	185,000
事業活動収入計（1）	555,000	370,000	185,000
事業費支出	16,000	4,312	11,688
貸付事業支出	300,000	220,000	80,000
流動資産評価損等による資金減少額	239,000	221,000	18,000
事業活動支出計（2）	555,000	445,312	109,688
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	0	△ 75,312	75,312
予 備 費（10）	0	0	0
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	0	△ 75,312	75,312

4. 受託事業

（1）福祉サービス利用援助事業（日常生活自立支援事業 県社協から受託）

① 相談援助件数（問い合わせ・相談援助件数）

	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	計
本年度	468 件	491 件	617 件	0 件	1,576 件
前年度	510 件	953 件	674 件	1 件	2,138 件

② 契約締結件数（新規）

	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	計
本年度	8 件	3 件	6 件	17 件
前年度	0 件	3 件	0 件	3 件

③ 終了件数（死亡、成年後見への移行、施設入所、本人申し出など）

	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	計
本年度	7 件	4 件	0 件	11 件

前年度	4 件	1 件	4 件	9 件
-----	-----	-----	-----	-----

④ 利用者数（3月末）

	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	計
本年度	13 件	23 件	19 件	55 件
前年度	12 件	24 件	13 件	49 件

⑤ 生活支援員

ア 生活支援員登録・実働者数

	登録者数	実働者数	実働率
本年度	33 件	33 件	100%
前年度	35 件	34 件	97.1%

⑥ 会議等

- ・日常生活自立支援事業担当部課長連絡会議（7/1） ※オンライン
- ・生活支援員研修Ⅱ「スキルアップ編」（11/22） ※参加者 20 人
- ・権利擁護主管部課長・担当者合同会議（3/3） ※オンライン

【事業の成果】

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、昨年度は生活支援員の活動を休止・再開を繰り返してきましたが、8月から手指消毒液等を準備し活動を再開できました。また、7月から専門員を増員したことにより新規相談に対応することができ、契約件数が増えました。

【今後の課題】

成年後見制度利用促進基本計画では、本人の意思決定支援の在り方について検討を行うことが求められている中、成年後見制度を補完する本事業は本人の意思決定支援を実践する制度として改めて注目を集めています。そうした期待や、利用者の権利擁護支援の観点からも、専門員のスキルアップを計画的に行っていく必要があります。

受託事業

単位：円

科 目	福祉サービス利用援助		
	予算	決算	差異
受託金収入	3,625,000	3,613,000	12,000
事業収入	672,000	670,800	1,200
事業活動収入計（1）	4,297,000	4,283,800	13,200
人件費支出	3,583,000	3,328,349	254,651
事業費支出	740,000	611,250	128,750
事務費支出	32,000	15,393	16,607
事業活動支出計（2）	4,355,000	3,954,992	400,008
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	△ 58,000	328,808	△ 386,808
事業区分間繰入金収入	439,000	21,592	417,408
その他の活動収入 計（7）	439,000	21,592	417,408
その他の活動による支出	381,000	350,400	30,600
その他の活動支出 計（8）	381,000	350,400	30,600
その他活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	58,000	△ 328,808	386,808
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	0	0	0

(2) 生活困窮者自立支援事業（市から受託）

生活保護に至る前の段階から生活困窮者の相談に対応し、抱える課題を整理するとともに、そのおかれている状況や本人意思を十分に確認することを通じて、個々の状態にあった支援を包括的にいき、生活困窮者が困窮状態から早期脱却できるよう支援を行いました。

① 自立相談支援事業

ア 支援対象者の生活および就労に関する相談支援

- ・新規相談件数：14 件（男性 9 件、女性 5 件）
- ・相談内容：経済的困窮、就職活動、家計管理ほか

イ 法律相談の実施（新潟県弁護士会所属弁護士）

- ・開設回数：24 回（毎月第 2・4 火曜日）
- ・会 場：小出ボランティアセンター「2階 相談室」
- ・相談件数：78 件（前年度 81 件）
- ・相談内容：相続、離婚、金銭貸借（サラ金以外）

ウ 支援調整会議の開催

- ・開催回数：10 回（4/22、5/27、6/24、7/29、8/26、9/30、11/18、12/23、2/24、3/24） ※4 月と 11 月は参集範囲を拡大して開催
- ・会場：小出ボランティアセンター「2階 ボランティア室」

エ フードバンク

協力員として登録していただいた地域の方から、食材の提供を受け、生活困窮者に届けました。

	本年度	前年度
提供回数	60 件	82 件
協力員登録者数	70 件	63 件

オ 情報発信

- a 相談カレンダー作成（全戸配布）
- b 市報うおぬまにて相談窓口の周知

② 就労準備支援事業

ア ひきこもり支援

a ひきこもり座談会の開催（毎月第 3 水曜日）

	本年度	前年度
開催回数	12 回	9 回
参加延人数	22 人	57 人

b 学び場ピアサポの開催（奇数月第 2 水曜日）※新規事業

ひきこもりピアサポート学習会が終了し、その後参加者からの声により、新たな居場所として開催しました。

	本年度
開催回数	6回
参加延人数	17人

- c 女性のためのぴあさぼの開催（偶数月第2水曜日）※新規事業
学び場ピアサポの対象を女性に限定して開催しました。

	本年度
開催回数	6回
参加延人数	14人

イ 居場所づくり（キャリアカウンセリング、就労準備セミナーは居場所を含む）

- a ちょびんの開催（毎週土曜日、キャリア・ステップ魚沼教室）

	本年度	前年度
開催回数	50回	46回
参加延人数	34人	114人

- b あけのこりの開催（不定期）

ちょびんに馴染めなかった人の居場所として開催（創作活動、点字名刺作成など）

	本年度	前年度
開催回数	4回	12回
参加延人数	8人	24人

- c zero ジョブの開催（毎週水曜日、小出ボランティアセンター）

中間的就労の場として開催（缶バッジ、内職、点字名刺作成など）

	本年度	前年度
開催回数	47回	40回
参加延人数	196人	236人

- d one ジョブの開催（不定期）※新規事業

Zero ジョブを守門入広瀬地区で開催（缶バッジ、内職、点字名刺作成など）

	本年度
開催回数	46回
参加延人数	74人

③ 家計改善支援事業

ア 相談援助件数：10件

イ 相談内容

- ・家計状況把握の支援（8件）
- ・にいがたセーフティネット事業（1件・10,000円→却下）
- ・貸付斡旋【総合支援資金】（14件 5,800,000円）※内 13件特例貸付
- ・債務整理支援（2件）

ウ 家計相談会 ※新規事業

専門家による家計相談会（相談援助件数 1件）

エ 金銭管理勉強会

小出特別支援学校高等部の生徒を対象に、お金の管理方法や計画的な使い方を学ぶ勉強会を開催しました。

	期 日	内 容	参加者数
第1回	12月15日	・講義「将来設計とお金の管理」 講師：塩沢信用組合小出郷支店 営業係 馬 場 修 氏 ・発表「事例紹介～先輩から学ぶ、お金の管理～」 説明員：うおぬま相談支援センター 相談支援専門員 山之内 良太 氏 ・説明「日常生活自立支援事業について」 説明員：魚沼市社会福祉協議会 堀之内支所長 渡部健児	41人

【事業の成果】

生活困窮者に対し、十分な案内や支援を実施するため、関係機関との連携強化を図りました。また、参加者からの声により新たな居場所「学び場ピアサポ」「女性のためのぴあさぽ」を開催しました。中間的就労の場としては「one ジョブ」を開設しました。家計改善支援事業では、専門家による家計相談会を実施しました。

【今後の課題】

相談窓口や相談フォームの周知を行い、相談しやすい環境を整備するとともに、就労支援においては中間的な就労の場の拡充など支援策について関係者と検討協議していきます。

受託事業

単位：円

科 目	生活困窮者自立支援		
	予算	決算	差異
受託金収入	18,040,000	18,040,000	0
その他の収入		14,668	△ 14,668
事業活動収入計 (1)	18,040,000	18,054,668	△ 14,668
人件費支出	15,009,000	15,117,891	△ 108,891
事業費支出	3,219,000	2,188,941	1,030,059
事務費支出	660,000	637,584	22,416
事業活動支出計 (2)	18,888,000	17,944,416	943,584
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	△ 848,000	110,252	△ 958,252
拠点区分間繰入金収入	1,300,000	309,028	990,972
その他の活動収入 計 (7)	1,300,000	309,028	990,972
その他の活動による支出	452,000	419,280	32,720
その他の活動支出 計 (8)	452,000	419,280	32,720
その他活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	848,000	△ 110,252	958,252
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	0	0	0

(3) 生活福祉資金貸付事業（県社協から受託）

低所得者世帯等に対して資金の貸し付けと相談援助を行い、生活再建を支援しました。

① 貸付状況

a 生活福祉資金

	貸付件数	貸付金額	備 考
本年度	2 件	600,000 円	・総合支援資金 500,000 円 ・緊急小口資金 100,000 円
前年度	2 件	600,000 円	

b 緊急小口資金等の特例貸付（新型コロナウイルス）

	本年度		前年度	
	件数	金 額	件数	金 額
緊急小口資金（特例）	14 件	1,830,000 円	21 件	3,100,000 円
総合支援資金（特例）	13 件	5,300,000 円	11 件	7,560,000 円
計	27 件	7,130,000 円	31 件	10,660,000 円

② 生活福祉資金貸付調査委員会の開催 2 回（5/20、2/17）

【事業の成果】

新型コロナウイルス感染症の影響による休業や失業で収入が減少した世帯に、緊急小口資金等の特例貸付の相談や支援等を行いました。また、本事業の滞納世帯には毎月、電話連絡を行い、生活状況等の確認や相談支援を実施しました。

【今後の課題】

新型コロナの特例により借り入れ世帯が大幅に増えました。今後、償還が困難な世帯も少なくなることが見込まれる中、民生児童委員と連携を取りながら、生活相談及び償還指導を実施していきます。

受託事業		単位：円		
科 目	生活福祉資金			
	予算	決算	差異	
經常経費補助金収入	2,148,000	2,148,000	0	
受託金収入	250,000	217,000	33,000	
事業活動収入計 (1)	2,398,000	2,365,000	33,000	
人件費支出	2,148,000	2,148,000	0	
事業費支出	317,000	272,090	44,910	
事務費支出	10,000	10,000	0	
事業活動支出計 (2)	2,475,000	2,430,090	44,910	
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	△ 77,000	△ 65,090	△ 11,910	
事業区分間繰入金収入	77,000	0	77,000	
その他の活動収入 計 (7)	77,000	0	77,000	
その他の活動支出 計 (8)	0	0	0	
その他活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	77,000	0	77,000	
予 備 費 (10)	0	0	0	
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	0	△ 65,090	65,090	

(4) 北部地域包括支援センター運営業務（市から受託）

① 包括的支援事業

ア 総合相談支援業務

地域の高齢者が、住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができるようにするため、どのような支援が必要かを把握し、地域における適切なサービス、関係機関および制度の利用につなげる等の支援を行いました。

a 相談実績

実件数	749件
延件数	1,727件
（再掲）新規	343件
（再掲）時間外対応	37件

b 相談形態別（延件数）

電話	925件
来所	176件
訪問	265件
その他	361件
合 計	1,727件

c 相談者区分別（延件数）

本人	197件
家族	700件
知人	5件
関係機関	762件
親戚	32件
その他	31件
合 計	1,727件

d 相談区分（複数回答）（延件数）

介護・生活	889件
サービス利用	504件
医療	162件
所得・家庭生活	12件
その他	265件
苦情相談	2件
権利擁護	99件
障がい関係	2件
介護予防把握	35件
合 計	1,970件

イ 権利擁護業務

地域の住民や、民生委員児童委員、介護支援専門員などの支援だけでは十分に問題解決ができない、適切なサービス等につながる方法が見つからない等の困難な状況にある高齢者が地域において安心して尊厳のある生活を行うことができるよう、専門的・継続的な支援を行いました。

a 成年後見制度等の活用促進

- ・成年後見活用促進 2件
- ・日常生活自立支援事業利用支援 16件

b 老人福祉施設等への措置の支援

c 高齢者虐待への対応

- ・高齢者虐待通報受付 7件
- ・高齢者虐待相談支援 8件
- ・高齢者虐待対応ケース会議

	期 日	開催場所
第1回	4月23日	市役所本庁舎
第2回	5月18日	
第3回	6月15日	
第4回	7月19日	
第5回	8月17日	
第6回	9月21日	
第7回	10月20日	
第8回	11月17日	
第9回（臨時）	11月26日	
第10回（臨時）	12月8日	
第11回	12月15日	
第12回	1月18日	
第13回	2月18日	
第14回	3月23日	

d 困難事例への対応

e 消費者被害の防止

ウ 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

地域の高齢者が住み慣れた地域で暮らすことができるよう、個々の高齢者等の状況や変化に応じた包括的・継続的ケアマネジメントを実現するため、地域における連携・協働の体制づくりや、個々の介護支援専門員に対する支援等を行いました。

a 包括的・継続的ケアマネジメントの体制構築に向けた取り組み

- ・自立支援型地域ケア個別会議（市主催）への協力（11/11、2/15）
- ・地域ケア推進会議（市主催）への協力（8/18、2/16）
- ・小規模多機能型居宅介護事業所介護支援専門員の意見交換会（12/14）
- ・広瀬地区・守門・入広瀬地域ケア個別会議（事例検討会・研修会）の企画・実施（2/10）

エ 介護支援専門員に対する個別支援

- ・相談件数 5件

- ・地域ケア個別会議 12件
- ・事例検討会 4件

オ 介護予防ケアマネジメント業務

基本チェックリスト該当者に対して、介護予防および日常生活支援を目的として、その心身の状況に応じて、対象者自らの選択に基づき、訪問型サービス、通所型サービス、その他の生活支援サービス等適切な事業が包括的・効率的に実施されるよう必要な援助を行いました。

- ・基本チェックリスト該当者 35人
- ・事業対象者 3人

② 指定介護予防支援業務

介護保険における、予防給付の対象となる要支援者が介護予防サービス等の適切な利用等を行うことができよう支援を行いました。

ア 指定居宅介護予防支援業務（年間延べ数）

	自事業所作成	居宅介護支援事業所委託
予防支援	313件	336件
介護予防ケアマネジメント	253件	170件
合 計	566件	506件

- ・自事業所作成（月平均 47件）
- ・居宅介護支援事業所委託（月平均 42件）

③ その他の事業

包括的支援事業を効果的に実施するための環境整備として、多職種協働による地域包括支援ネットワーク構築に取り組みました。

ア 在宅医療・介護連携推進事業との連携

- ・在宅医療ワーキングチーム会議（7/28、11/10、3/2）
- ・楽語り講座参加（6/9、6/21、7/7、7/21、9/8、9/15、12/8、1/19、2/9）
- ・専門研修会参加（9/17）
- ・多職種連携検討会（12/8）
- ・医療介護連携研修会（3/23）
- ・もしもカード検討委員会（12/22、1/20、2/15、3/17）

イ 生活支援体制整備事業との連携

- ・生活支援体制整備事業関係研修（6/28、6/29、2/14）
- ・生活支援体制整備事務局会議への参加（8/2、9/27、11/16、12/21、1/17、2/22、3/29）
- ・大臼川運動教室への協力（8/5、9/7、9/14、9/21、9/28、10/5、10/12、10/19、10/26、11/2、11/9、11/16、11/30、12/10）

ウ 認知症総合支援事業との連携

- ・認知症初期集中支援チーム検討委員会（6/3、10/7）
- ・認知症ケアパス作成委員会（6/3、10/7）
- ・認知症講演会（11/11）
- ・認知症高齢者声かけ訓練（11/4）
- ・認知症事例検討会（1/12）

エ ネットワーク構築

- ・小出病院地域連絡会（12/10、12/17）
- ・生活困窮者自立支援事業支援調整会議（4/22）
- ・高齢者見守りネットワーク会議（8/31）
- ・小規模多機能すまいる並柳・リバーサイドすまいる運営推進会議（6回/年）
- ・小規模多機能ひめさゆり運営推進会議（6回/年）
- ・各地区民生委員協議会（4/16、5/19、5/21、10/21）

【事業の成果】

令和3年度は、北部圏域の地域包括支援センターが設置されました。

地域の身近な相談機関として、多岐にわたる相談を受け付けました。当事業所で対応できないことは、迅速に適切な機関・制度・サービスに繋ぎ、ワンストップサービスの拠点としての機能を果たしました。地域課題を把握することを目的に地域ケア個別会議・事例検討会の開催を積み重ねてきました。結果、北部圏域の地域課題を地域ケア推進会議に繋ぐことができました。地域包括ケアを推進していくために、各関係機関とのネットワーク構築に積極的に取り組んできました。

【今後の課題】

「地域特性」を把握するために、地域ケア個別会議の積み重ねに加え、日々の相談受付から、地域課題を分析することに取り組みます。分析から、必要なニーズの洗い出しにつなげ、課題解決に必要なネットワーク構築を図り、地域の高齢者が住み慣れた地域でその人らしい生活を継続できるよう取り組みます。

受託事業		単位:円		
科 目	北部地域包括支援センター			
	予算	決算	差異	
受託金収入	26,400,000	26,400,000	0	
介護保険事業収入	4,772,000	5,148,000	△ 376,000	
その他の事業収入		830	△ 830	
事業活動収入計 (1)	31,172,000	31,548,830	△ 376,830	
人件費支出	22,631,000	20,906,334	1,724,666	
事業費支出	7,095,000	6,622,812	472,188	
事務費支出	990,000	886,785	103,215	
事業活動支出計 (2)	30,716,000	28,415,931	2,300,069	
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	456,000	3,132,899	△ 2,676,899	
その他の活動収入 計 (7)	0	0	0	
その他の活動による支出	456,000	376,680	79,320	
その他の活動支出 計 (8)	456,000	376,680	79,320	
その他活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	△ 456,000	△ 376,680	△ 79,320	
予 備 費 (10)	0	0	0	
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	0	2,756,219	△ 2,756,219	

(5) 聴覚障害者等コミュニケーション支援事業(市から受託)

① 派遣状況

	本年度	前年度
医療機関	0 件	0 件
公的機関	0 件	0 件
就 労	0 件	0 件
会議・研修	0 件	0 件
地域活動	0 件	3 件
その他	0 件	0 件
計	0 件	3 件

② 手話通訳者等登録者数 13 人

【事業の成果】

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、開催予定であった市内の事業等が中止になり、本事業に対する問合せや相談等はありませんでした。

【今後の課題】

聴覚や音声・言語機能に障がいがある人に意思疎通を仲介する手話奉仕員を派遣し、意思伝達の手段を確保し、社会生活が円滑に行えるよう、事業の周知を図ります。

受託事業

単位: 円

科 目	聴覚障害者支援		
	予算	決算	差異
受託金収入	100,000	0	100,000
事業活動収入計 (1)	100,000	0	100,000
事業費支出	98,000	0	98,000
事務費支出	2,000	0	2,000
事業活動支出計 (2)	100,000	0	100,000
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	0	0	0

5. 介護福祉事業

今年度の資金収支決算は 10,045 千円と単年度収支黒字の目標は達成できましたが、収入予算に対して△34,728 千円、支出予算に対して△48,049 千円の結果となり、補正後予算に対する目標達成率はそれぞれ収入 91%、支出 88%となりました。各事業所の収支差額は、訪問介護事業所 13,028 千円、伊米ヶ崎デイサービス 380 千円、湯之谷デイサービス△1,355 千円、守門デイサービス△5,134 千円、在宅介護支援センター湯之谷 3,381 千円、守門居宅介護支援事業所△254 千円という結果でした。

コロナウイルス感染症の影響による利用の減少、新規獲得の減少等により収益増に繋がっていませんでした。

収益が上がらず苦しい中ではありましたが、コロナ禍であってもサービス提供を継続していく為に、基本の感染症対策を徹底し、BCP の作成や訓練を実施しました。

【令和3年度 資金収支決算状況】

(単位: 円)

	補正後予算 (A)	R3 決算 (B)	差異 (A)-(B)	R2決算 (C)	増減 (B)-(C)
訪問介護					
事業活動収入	95,002,000	87,620,605	7,381,395	88,962,675	△ 1,342,070
事業活動支出	92,100,000	78,287,546	13,812,454	84,674,079	△ 6,386,533
収支差額	2,902,000	9,333,059	△ 6,431,059	4,288,596	5,044,463
居宅介護・移動支援					
事業活動収入	6,847,000	6,758,437	88,563	6,460,680	297,757
事業活動支出	4,192,000	3,062,628	1,129,372	8,125,854	△ 5,063,226
収支差額	2,655,000	3,695,809	△ 1,040,809	△ 1,665,174	5,360,983
軽度生活					
事業活動収入	1,582,000	1,369,847	212,153	1,621,152	△ 251,305
事業活動支出	1,582,000	1,369,847	212,153	1,621,152	△ 251,305
収支差額	0	0	0	0	0
魚沼社協訪問介護(合計)					
事業活動収入	103,431,000	95,748,889	7,682,111	97,044,507	△ 1,295,618
事業活動支出	97,874,000	82,720,021	15,153,979	94,421,085	△ 11,701,064
収支差額	5,557,000	13,028,868	△ 7,471,868	2,623,422	10,405,446
伊米ヶ崎デイサービス					
事業活動収入	65,603,000	60,330,346	5,272,654	68,309,720	△ 7,979,374
事業活動支出	71,084,000	59,950,234	11,133,766	67,548,064	△ 7,597,830
収支差額	△ 5,481,000	380,112	△ 5,861,112	761,656	△ 381,544
湯之谷デイサービス(介護)					
事業活動収入	69,018,000	67,448,118	1,569,882	65,358,834	2,089,284
事業活動支出	72,183,000	66,903,520	5,279,480	60,895,244	6,008,276
収支差額	△ 3,165,000	544,598	△ 3,709,598	4,463,590	△ 3,918,992
(生活介護)					
事業活動収入	1,422,000	1,195,772	226,228	2,081,780	△ 886,008
事業活動支出	3,326,000	3,095,914	230,086	2,954,491	141,423
収支差額	△ 1,904,000	△ 1,900,142	△ 3,858	△ 872,711	△ 1,027,431
湯之谷デイサービス(合計)					
事業活動収入	70,440,000	68,643,890	1,796,110	67,440,614	1,203,276
事業活動支出	75,509,000	69,999,434	5,509,566	63,849,735	6,149,699
収支差額	△ 5,069,000	△ 1,355,544	△ 3,713,456	3,590,879	△ 4,946,423
守門デイサービス					
事業活動収入	105,664,000	90,205,714	15,458,286	98,635,621	△ 8,429,907
事業活動支出	106,398,000	95,340,668	11,057,332	97,857,820	△ 2,517,152
収支差額	△ 734,000	△ 5,134,954	4,400,954	777,801	△ 5,912,755

在介湯之谷	補正後予算 (A)	R3 決算 (B)	差異 (A)-(B)	R2決算 (C)	増減 (B)-(C)
	事業活動収入	32,303,000	31,156,320	33,238,380	△ 2,082,060
	事業活動支出	30,408,000	27,774,851	30,989,396	△ 3,214,545
	収支差額	1,895,000	3,381,469	2,248,984	1,132,485
守門居宅	補正後予算 (A)	R3 決算 (B)	差異 (A)-(B)	R2決算 (C)	増減 (B)-(C)
	事業活動収入	27,588,000	24,215,430	23,560,260	655,170
	事業活動支出	27,031,000	24,469,630	24,247,755	221,875
	収支差額	557,000	△ 254,200	△ 687,495	433,295
介護福祉課全体	補正後予算 (A)	R3 決算 (B)	差異 (A)-(B)	R2決算 (C)	増減 (B)-(C)
	事業活動収入	405,029,000	370,300,589	388,229,102	△ 17,928,513
	事業活動支出	408,304,000	360,254,838	378,913,855	△ 18,659,017
	収支差額	△ 3,275,000	10,045,751	9,315,247	730,504

【事業の成果】

コロナ禍ではありましたが、職員の感染予防に対する意識向上に取り組み、利用者・家族のご理解とご協力をいただけたことにより、できる限りの利用者受け入れとサービス提供を継続することが出来ました。

令和3年度の介護報酬改定で新設となった科学的介護推進体制加算を算定することにより、利用者の自立支援・重度化防止に向けた取り組みを推進し、経営基盤の安定化を図りました。また、利用者の人権の擁護を目的に、高齢者虐待防止指針を策定し、虐待防止委員会を設置しました。

【今後の課題】

令和4年度は、魚沼市内の短期入所枠が20床特養へ移行することにより、ますます居宅介護サービス事業の経営が厳しくなると予想されます。住民が住み慣れた地域での在宅生活の継続ができるよう、社協らしいサービスとは何かを職員一人ひとりが意識し、サービスの質の向上、人材育成に努め、選ばれる事業所を目指していく必要があります。

さらに、感染、災害に備えた平時からの対応や自立支援・重度化防止に向けた取り組みの推進を行い、あわせて加算の見直しなど介護福祉事業の経営基盤の安定を図り、地域包括ケアシステム構築の一翼を担えるような介護福祉事業として令和4年度に繋いでいきます。

(1) 訪問介護事業・介護予防訪問介護相当サービス事業

日常生活が困難な要支援・要介護状態の方へホームヘルパーを派遣し、その方自身の能力に応じた自立した日常生活を営むことができるよう、食事・入浴・排泄などの身体介護や、家事・掃除などの家事援助のサービスを提供しました。保険外サービス（ふれあいサポート事業）を実施しました。

- ・実施事業所 1 事業所（本拠地） 1 出張所（守門・入広瀬）
- ・派遣日 1 月 1 日を除く毎日 特別な事情により営業日以外も対応
- ・派遣時間 8 時 30 分～17 時 30 分 特別な事情により時間外も対応
- ・収入予算に対し目標達成率 93%、支出予算に対し目標達成率 85%でした。
- ・利用者数前年比△2% 利用回数前年比 7%増でした。
- ・各種会議への参加と研修会（zoom 含む）に参加しました。
- ・介護認定審査会委員に訪問介護事業所より 2 名が任命されています。
- ・コロナ禍でのサービス提供を継続するために感染症についての研修、BCP の策定・訓練を実施しました。
- ・困難ケースへの対応力の向上を目的に、事例検討会を行いました。

① 訪問介護（介護予防訪問介護相当サービス）利用実績

			本拠地			守門・入広瀬出張所			全体		
			実 績	前年度	比 較	実 績	前年度	比 較	実 績	前年度	比 較
介護	利用者数(人)		815	859	△ 44	489	378	111	1,304	1,237	67
	生活	回数	835	925	△ 90	711	704	7	1,546	1,629	△ 83
		時間	806	879	△ 73	664	639	25	1,470	1,518	△ 48
	身体	回数	8,558	8,640	△ 82	5,454	4,282	1,172	14,012	12,922	1,090
		時間	5,857	5,971	△ 114	3,371	2,646	725	9,228	8,617	611
	身体生活	回数	1,724	2,152	△ 428	799	838	△ 39	2,523	2,990	△ 467
		時間	2,039	2,478	△ 439	811	876	△ 65	2,850	3,354	△ 504
	総合	利用者数(人)		90	132	△ 42	131	191	△ 60	221	323
派遣回数(回)		405	747	△ 342	720	1,101	△ 381	1,125	1,848	△ 723	

② ふれあいサポート事業（保険外サービス）利用実績

		本拠地			守門・入広瀬出張所			全体		
		実績	前年度	比較	実績	前年度	比較	実績	前年度	比較
利用者数(人)		11	17	△ 6	18	2	16	29	19	10
身体	回数	9	26	△ 17	17	40	△ 23	26	66	△ 40
	時間	9.5	34	△ 25	24	20	4	33.5	54	△ 21
生活	回数	14	4	10	43	0	43	57	4	53
	時間	12	3.5	9	42.5	0	43	54.5	3.5	51

【事業の成果】

新規獲得のため、ヘルパー便りの発信、ケアマネへの情報提供、法令を順守した誠実なサービス提供などコロナ禍においても出来る事を心がけ、介護保険外のサービス（ふれあいサポート事業）について生活の依頼回数が増となり、介護保険外サービスを利用できる事業所としての存在感を示すことができました。また、北部地域包括支援センターの設置により、新規があがったことで守門・入広瀬地域での利用者数が増加しました。

【今後の課題】

コロナ禍でのサービス提供を継続できるよう、感染症の事業継続計画（BCP）の訓練及び計画見直しと、災害時のBCP作成に取り組んでいます。また、人員不足により苦しい状況ではありますが、自宅での介護が必要な方に、質の高いサービスの提供が継続して行えるように努めてまいります。

介護福祉事業

単位：円

科 目	訪問介護		
	予算	決算	差異
経常経費寄附金収入	1,000	0	1,000
経常経費補助金収入	1,000	0	1,000
介護保険事業収入	94,219,000	87,023,210	7,195,790
その他の事業収入	208,000	214,000	△ 6,000
受取利息配当金収入	1,000	1,652	△ 652
その他の収入	572,000	381,743	190,257
事業活動収入計（1）	95,002,000	87,620,605	7,381,395
人件費支出	81,287,000	69,673,175	11,613,825
事業費支出	9,596,000	7,096,496	2,499,504
事務費支出	1,216,000	831,454	384,546
利用者負担軽減額	1,000	0	1,000
事業活動支出計（2）	92,100,000	77,601,125	14,498,875
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	2,902,000	10,019,480	△ 7,117,480
施設整備等収入計（4）	0	0	0
固定資産取得支出		0	0
ファイナンス・リース債務の返済支出	3,171,000	3,152,028	18,972
施設整備等支出計（5）	3,171,000	3,152,028	18,972
施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)	△ 3,171,000	△ 3,152,028	△ 18,972
積立資産取崩収入	400,000	397,500	2,500
その他の活動による収入	1,000	204,085	△ 203,085
その他の活動収入 計（7）	401,000	601,585	△ 200,585
積立資産支出	0	1,652	△ 1,652
拠点区分間繰入金支出	145,000	126,000	19,000
その他の活動による支出	0	0	0
その他の活動支出 計（8）	145,000	127,652	17,348
その他活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	256,000	473,933	△ 217,933
予 備 費（10）	800,000	0	800,000
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△ 813,000	7,341,385	△ 8,154,385

(2) 通所介護事業・介護予防訪問介護相当サービス事業

要支援要介護状態の方に対して、能力に応じた自立した日常生活を営むことができるよう、必要な日常生活上の援助や個別機能訓練を行うことにより、社会的孤立感の解消及び心身機能の維持並びに家族の身体的、精神的負担の軽減を図れるよう努めました。

- ・実施事業所 3 事業所（伊米ヶ崎デイサービス、湯之谷デイサービス、守門デイサービス）
- ・開所日 12月31日～1月3日を除く毎日
伊米ヶ崎デイサービスは毎週土日曜休業日（10月より土曜を追加）
湯之谷デイサービスは毎週土曜休業日
- ・開所時間 9時00分～16時30分
- ・利用者数介護△3%、総合△3%。利用回数介護前年比△4%、総合△8%、年間平均稼働率前年比△2%。
- ・収入予算に対し目標達成率90%、支出予算に対し目標達成率89%でした。
- ・理美容サービスを実施しました。
- ・実習生を受け入れました。

伊米ヶ崎デイサービスセンター 北里大学保健衛生専門学院

4日間各2名ずつ受入れ（実人数4名）

- ・ボランティアの受け入れ（コロナ禍のため理美容サービスのみ）
- ・介護認定審査会委員に通所介護事業所より3名が任命されています。
- ・家族介護教室を実施しました。

湯之谷デイサービス

R3年7月5日（月）長者旅館（下折立）参加者 17人

守門デイサービス

R3年10月22日（金）守門健康センター参加者 6人

- ・お客様アンケート実施しました。
- ・区分別会議の委員をつとめ、市内他事業所と連携を図りました。
- ・各種会議への参加と研修会（zoom含む）に参加しました。
- ・医療介護連携システム team を導入し、医療との連携がスムーズに行えました。
- ・コロナ禍でのサービス提供を継続するために感染症についての研修、BCP訓練を実施しました。
- ・科学的介護推進体制加算を新たに算定開始しました。

		伊米ヶ崎デイサービス			湯之谷デイサービス			守門デイサービス			通所介護全体(平均)		
		実 績	前年度	比 較	実 績	前年度	比 較	実 績	前年度	比 較	実 績	前年度	比 較
定員		23	23	0	25	25	0	29	29	0	26	26	0
開所日		285	310	△ 25	309	310	△ 1	360	361	△ 1	318	327	△ 9
介護	年間利用者数	612	662	△ 50	716	657	59	962	968	△ 6	763	762	1
	年間利用回数	5,444	6,059	△ 615	6,100	5,903	197	7,857	8,309	△ 452	6,467	6,757	△ 290
総合	年間利用者数	22	13	9	101	102	△ 1	242	264	△ 22	122	126	△ 5
	年間利用回数	117	73	44	594	821	△ 227	1,347	1,337	10	686	744	△ 58
1日平均利用者数		19.6	19.8	△ 0.2	※ 21.6	※ 21.7	△ 0.1	25.7	26.7	△ 1.0	23.6	23.0	0.6
稼働率(%)		85.3%	86.0%	-0.7%	※ 86.5%	※ 86.8%	-0.3%	88.6%	92.1%	-3.5%	86.8%	88.3%	-1.5%

※生活介護含

R3年度介保のみ 692人 5,931回

R3年度介保のみ 稼働率84.4（%）

【事業の成果】

コロナ禍で施設内に地域の方を招く等の交流はできませんでしたが、出来ることは何かを考え工夫し地域と交流を持てるようにしました。なかでも小中学生とのオンラインを活用した交流では、新しいかたちで交流を続けることができ、利用者にとっても、よい刺激となりました。

地域住民の生活を守るため、感染予防対策を講じながら出来る限り利用者の受入を行うことが出来ました。また、職員の感染予防に対する意識の向上が図れ、利用者・家族のご理解とご協力を頂けたこともあり、利用者の感染が1名発生したものの、他利用者・職員への感染拡大はありませんでした。

【今後の課題】

理学療法士、作業療法士が新たに増員となったため、利用者の自立支援と重度化防止に向け、個別機能訓練や科学的介護情報システム（LIFE）を活用した科学的介護の推進により一層力を入れていきます。また、コロナ禍でのサービス提供を継続できるよう、感染症の事業継続計画（BCP）の訓練及び計画見直しと、災害時のBCP作成に取り組んでいきます。

通所介護事業

単位:円

科 目	伊米ヶ崎デイサービス			湯之谷デイサービス			守門デイサービス			計		
	予算	決算	差異	予算	決算	差異	予算	決算	差異	予算	決算	差異
経常経費寄附金収入	1,000	0	1,000		0	△ 12,525	1,000	0	1,000	2,000	12,525	△ 10,525
経常経費補助金収入	1,000	0	1,000		0	0	1,000	0	1,000	3,000	0	3,000
介護保険事業収入	65,531,000	60,304,118	5,226,882	68,734,000	66,900,760	1,833,240	105,113,000	89,763,924	15,349,076	239,378,000	216,968,802	22,409,198
受取利息配当金収入	1,000	228	772	7,000	653	6,347	1,000	0	1,000	9,000	881	8,119
その他の収入	69,000	26,000	43,000	276,000	534,180	△ 258,180	548,000	441,790	106,210	893,000	1,001,970	△ 108,970
事業活動収入計 (1)	65,603,000	60,330,346	5,272,654	69,018,000	67,448,118	1,569,882	105,664,000	90,205,714	15,458,286	240,285,000	217,984,178	22,300,822
人件費支出	56,555,000	47,929,571	8,625,429	56,920,000	52,491,578	4,428,422	83,874,000	76,077,057	7,796,943	197,349,000	176,498,206	20,850,794
事業費支出	13,515,000	11,267,262	2,247,738	14,469,000	13,789,287	679,713	21,567,000	17,083,008	4,483,992	49,551,000	42,139,557	7,411,443
事務費支出	1,013,000	722,678	290,322	793,000	592,192	200,808	956,000	779,989	176,011	2,762,000	2,094,859	667,141
利用者負担軽減額	1,000	0	1,000	1,000	0	1,000	1,000	0	1,000	3,000	0	3,000
事業活動支出計 (2)	71,084,000	59,919,511	11,164,489	72,183,000	66,873,057	5,309,943	106,398,000	93,940,054	12,457,946	249,665,000	220,732,622	28,932,378
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	△ 5,481,000	410,835	△ 5,891,835	△ 3,165,000	575,061	△ 3,740,061	△ 734,000	△ 3,734,340	3,000,340	△ 9,380,000	△ 2,748,444	△ 6,631,556
固定資産売却収入	0	0	0	0	0	0	0	100,000	△ 100,000	0	100,000	△ 100,000
施設整備等収入計 (4)	0	0	0	0	0	0	0	100,000	△ 100,000	0	100,000	△ 100,000
固定資産取得支出	180,000	170,500	9,500	180,000	170,500	9,500	308,000	288,200	19,800	668,000	629,200	38,800
ファイナンス・リース債務の返済支出	373,000	366,192	6,808	373,000	366,192	6,808	711,000	702,828	8,172	1,457,000	1,435,212	21,788
施設整備等支出計 (5)	553,000	536,692	16,308	553,000	536,692	16,308	1,019,000	991,028	27,972	2,125,000	2,064,412	60,588
施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)	△ 553,000	△ 536,692	△ 16,308	△ 553,000	△ 536,692	△ 16,308	△ 1,019,000	△ 891,028	△ 127,972	△ 2,125,000	△ 1,964,412	△ 160,588
積立資産取崩収入	0	180,000	△ 180,000	0	0	0	0	306,000	△ 306,000	0	486,000	△ 486,000
その他の活動による収入	181,000	38,200	142,800	1,000	0	1,000	306,000	117,965	188,035	488,000	156,165	331,835
その他の活動収入 計 (7)	181,000	218,200	△ 37,200	1,000	0	1,000	306,000	423,965	△ 117,965	488,000	642,165	△ 154,165
積立資産支出	0	228	△ 228	0	653	△ 653	0	0	0	0	881	△ 881
拠点区分間繰入金支出			0	2,000,000	1,523,139	476,861			0	2,000,000	1,523,139	476,861
その他の活動による支出	55,000	72,000	△ 17,000	91,000	108,006	△ 17,006	127,000	120,000	7,000	273,000	300,006	△ 27,006
その他の活動支出 計 (8)	55,000	72,228	△ 17,228	2,091,000	1,631,798	459,202	127,000	120,000	7,000	2,273,000	1,824,026	448,974
その他活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	126,000	145,972	△ 19,972	△ 2,090,000	△ 1,631,798	△ 458,202	179,000	303,965	△ 124,965	△ 1,785,000	△ 1,181,861	△ 603,139
予 備 費 (10)	1,000,000	0	1,000,000	1,000,000	0	1,000,000	1,000,000	0	1,000,000	3,000,000	0	3,000,000
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△ 6,908,000	20,115	△ 6,928,115	△ 6,808,000	△ 1,593,429	△ 5,214,571	△ 2,574,000	△ 4,321,403	1,747,403	△ 16,290,000	△ 5,894,717	△ 10,395,283

6. 障害福祉事業

日常生活において支援を必要とする障がい者の方へホームヘルパーを派遣し、自立した日常生活を営むことができるよう、食事・入浴・排泄などの身体介護や、家事・掃除などの家事援助、視覚障害者の外出介護等のホームヘルプサービスを提供することにより、生活の質の向上に資するよう努めました。

障害福祉事業全般においては年々利用者減少の傾向にあり、基準該当生活介護の利用者数は前年比△32%、利用回数△29%、居宅介護利用者数は前年比△16%、利用回数△8%、軽度生活支援の利用者数は、前年比△11%と全体平均△18%利用者数が減少しました。

(1) 基準該当生活介護（湯之谷デイサービスセンターで一体的に実施）

基準該当施設において、常に介護を必要とする方に、入浴・食事・排泄の介助等を行うとともに、趣味の場や社会交流の機会を提供しました。

- ・実施事業所 湯之谷デイサービス
- ・開所日 12月31日～1月3日及び土曜日を除く毎日
- ・開所時間 9時00分～16時30分

	実 績	前年度	比 較
利用者数	24	35	△ 11
利用回数	169	238	△ 69

(2) 居宅介護（訪問介護と一体的に実施）

- ・実施事業所 1事業所（本拠地）1出張所（守門・入広瀬）で実施
- ・派遣日 1月1日を除く毎日特別な事情により営業日以外も対応
- ・派遣時間 8時30分～17時30分特別な事情により時間外も対応

			本拠地			守門・入広瀬			全 体		
			実 績	前年度	比 較	実 績	前年度	比 較	実 績	前年度	比 較
利用者数(人)			193	222	△ 29	58	77	△ 19	251	299	△ 48
派遣 回数・時間	身体	回数	864	610	254	94	158	△ 64	958	768	190
	家事	回数	1,039	1,119	△ 80	506	557	△ 51	1,545	1,676	△ 131
	通院	回数	5	13	△ 8	0	0	0	5	13	△ 8

(3) 地域生活支援事業 移動支援（訪問介護と一体的に実施 市から受託）

魚沼市からの依頼により、屋外での移動が困難な障がい者の方へホームヘルパーを派遣し、社会生活上必要不可欠な外出及び余暇活動等の社会生活参加のための外出に対して移動支援のサービスを提供しました。

			本拠地			守門・入広瀬			全 体		
			実 績	前年度	比 較	実 績	前年度	比 較	実 績	前年度	比 較
利用者数			4	7	△ 3	0	0	0	4	7	△ 3
派遣回数			4	8	△ 4	0	0	0	4	8	△ 4

【事業の成果】

利用者数は減少していますが、地域で在宅生活を継続するために支援を必要としている障がい者の方に、コロナ禍においても感染予防対策を講じながら可能な限りサービス提供をし在宅生活の継続を支援することが出来ました。

コロナ禍でのサービス提供を継続するために感染症についての研修、BCP の策定・訓練を実施しました。

障害福祉サービスは、介護保険事業所が一体となってサービスを提供しています。

【今後の課題】

利用者数は年々減少しているが、在宅生活を継続するために支援を必要としている人に必要なサービスが提供できるように、また、コロナ禍でのサービス提供を継続できるよう、感染症の事業継続計画（BCP）の訓練及び計画見直しと、災害時の BCP 作成に向け基盤作りをしていきます。

障害福祉事業

単位：円

科 目	居宅介護			障害生活介護			計		
	予算	決算	差異	予算	決算	差異	予算	決算	差異
障害福祉サービス等事業収入	6,847,000	6,757,820	89,180	1,422,000	1,195,772	226,228	8,269,000	7,953,592	315,408
その他の収入	0	617	△ 617	0	0	0	0	617	△ 617
事業活動収入計 (1)	6,847,000	6,758,437	88,563	1,422,000	1,195,772	226,228	8,269,000	7,954,209	314,791
人件費支出	3,586,000	3,106,455	479,545	2,573,000	2,422,546	150,454	6,159,000	5,529,001	629,999
事業費支出	559,000	559,385	△ 385	723,000	654,225	68,775	1,282,000	1,213,610	68,390
事務費支出	47,000	29,969	17,031	30,000	19,143	10,857	77,000	49,112	27,888
事業活動支出計 (2)	4,192,000	3,695,809	496,191	3,326,000	3,095,914	230,086	7,518,000	6,791,723	726,277
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	2,655,000	3,062,628	△ 407,628	△ 1,904,000	△ 1,900,142	△ 3,858	751,000	1,162,486	△ 411,486
施設整備等収入計 (4)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
固定資産取得支出	574,000	0	574,000	246,000	0	246,000	820,000	0	820,000
施設整備等支出計 (5)	574,000	0	574,000	246,000	0	246,000	820,000	0	820,000
施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)	△ 574,000	0	△ 574,000	△ 246,000	0	△ 246,000	△ 820,000	0	△ 820,000
拠点区分間繰入金収入	0	0	0	2,000,000	1,523,139	476,861	2,000,000	1,523,139	476,861
その他の活動収入 計 (7)	0	0	0	2,000,000	1,523,139	476,861	2,000,000	1,523,139	476,861
その他の活動支出 計 (8)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	0	0	0	2,000,000	1,523,139	476,861	2,000,000	1,523,139	476,861
予 備 費 (10)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	2,081,000	3,062,628	△ 981,628	△ 150,000	△ 377,003	227,003	1,931,000	2,685,625	△ 754,625

Ⅱ. 公益事業

1. 居宅介護支援事業

介護サービスを必要としている方、そのご家族の意向に沿った居宅介護支援計画を作成し、利用者の状況にあったサービスを円滑に提供できるように努めました。また、各種申請や更新の手続きの代行も行い、利用者の負担の軽減に努めました。魚沼市北部地域包括支援センター・魚沼市南部地域包括支援センター・魚沼市西部地域包括支援センターからの依頼により介護予防サービス計画を作成し、利用者の状況に最もふさわしいサービスを円滑に提供できるように努めました。

介護給付件数は2事業所合わせて前年比△4%、守門居宅介護支援事業所は北部地域包括支援センターからの新規があがり3%増となりました。介護予防支援・予防ケアマネジメントは全体で△1%、在宅介護支援センター湯之谷が4%の増となりました。認定調査については、前年比△5%と減少しました。

コロナ禍においても利用者が在宅に必要なサービスを受けられるように支援していくため、感染症についての研修、事業継続計画（BCP）を策定し、訓練を実施しました。

- ・実施事業所 2事業所（在宅介護支援センター湯之谷、守門居宅介護支援事業所）
- ・開所日 月曜～金曜 年末年始（12月29日～1月4日）祝祭日を除く
- ・開所時間 8時30分～17時30分

（1）居宅介護支援（介護予防支援・介護予防ケアマネジメント・認定調査）実績

		在宅介護支援センター			守門居宅			全 体		
		実 績	前年度	比 較	実 績	前年度	比 較	実 績	前年度	比 較
介護給付	給付件数	1,618	1,770	△ 152	1,269	1,230	39	2,887	3,000	△ 113
	月平均給付件数	135	148	△ 13	106	103	3	241	250	△ 9
予防支援・ケアマネジメント	受託件数	316	301	15	240	258	△ 18	556	559	△ 3
	月平均給付件数	26	25	1	20	22	△ 2	46	47	△ 0
認定調査	受託件数	101	113	△ 12	80	78	2	181	191	△ 10
	月平均給付件数	8	9	△ 1	7	7	0	15	16	△ 1

- ・実習生受け入れ 新潟大学医学部 14人
- ・研修医受け入れ 長岡赤十字病院 4人 東京慈恵医科大学 1人
- ・区分別会議委員、主任ケアマネ委員を務め市内の他事業所と連携を図りました。
- ・医療介護連携システム team を導入し、医療との連携がスムーズに行えました。
- ・team 導入の委員を務め、率先して医療介護連携の推進に努めました。
- ・他法人の居宅介護支援事業所と連携を図り、事例検討などを合同で実施しました

【事業の成果】

守門居宅介護支援事業所は魚沼市北部地域包括支援センターの設置により新規があがり、給付件数の増につながりましたが、終了となるケースも多く、収益の増につながりませんでした。しかし、多重問題を抱える困難ケースの支援にも積極的に取り組みました。

また、感染症の事業継続計画を策定し、訓練を行うことで職員の感染予防に対する意識の向上や対応力の向上を図りました。

【今後の課題】

利用者数は減少していますが、在宅生活を継続するために支援を必要としている方に必要なサービスが提供できるように、また、コロナ禍でのサービス提供を継続できるよう感染症の事業継続計画（BCP）の訓練及び計画見直しと、災害時のBCP作成に取り組んでいきます。更に、市内のそれぞれの地域包括支援センターとの連携を深め、地域住民の生活を守るため介護予防、重度化防止に向けて支援を継続していきます。

在宅介護支援センター湯之谷は、基幹集落センターの取り壊しに伴い、移転を予定しています。今後も引き続き地域の方への相談・支援がスムーズに行えるように努めてまいります。

居宅介護支援事業

単位：円

科 目	在宅介護湯之谷			守門居宅			計		
	予算	決算	差異	予算	決算	差異	予算	決算	差異
介護保険事業収入	32,293,000	31,127,450	1,165,550	27,568,000	24,168,730	3,399,270	59,861,000	55,296,180	4,564,820
その他の収入	10,000	28,870	△ 18,870	20,000	46,700	△ 26,700	30,000	75,570	△ 45,570
事業活動収入計（1）	32,303,000	31,156,320	1,146,680	27,588,000	24,215,430	3,372,570	59,891,000	55,371,750	4,519,250
人件費支出	26,530,000	24,962,339	1,567,661	23,380,000	21,778,422	1,601,578	49,910,000	46,740,761	3,169,239
事業費支出	2,884,000	2,099,395	784,605	3,331,000	2,478,427	852,573	6,215,000	4,577,822	1,637,178
事務費支出	994,000	682,394	311,606	320,000	182,058	137,942	1,314,000	864,452	449,548
事業活動支出計（2）	30,408,000	27,744,128	2,663,872	27,031,000	24,438,907	2,592,093	57,439,000	52,183,035	5,255,965
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	1,895,000	3,412,192	△ 1,517,192	557,000	△ 223,477	780,477	2,452,000	3,188,715	△ 736,715
施設整備等収入計（4）	0	0	0	0	0	0	0	0	0
固定資産取得支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ファイナンス・リース債務の返済支出	425,000	412,488	12,512	381,000	369,300	11,700	806,000	781,788	24,212
施設整備等支出計（5）	425,000	412,488	12,512	381,000	369,300	11,700	806,000	781,788	24,212
施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)	△ 425,000	△ 412,488	△ 12,512	△ 381,000	△ 369,300	△ 11,700	△ 806,000	△ 781,788	△ 24,212
その他の活動収入 計（7）	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事業区分間繰入金支出	2,190,000	21,592	2,168,408	0	0	0	2,190,000	21,592	2,168,408
その他の活動による支出	73,000	72,000	1,000	73,000	75,000	△ 2,000	146,000	147,000	△ 1,000
その他の活動支出 計（8）	2,263,000	93,592	2,169,408	73,000	75,000	△ 2,000	2,336,000	168,592	2,167,408
その他活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	△ 2,263,000	△ 93,592	△ 2,169,408	△ 73,000	△ 75,000	2,000	△ 2,336,000	△ 168,592	△ 2,167,408
予 備 費（10）	0	0	0	500,000	0	500,000	500,000	0	500,000
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△ 793,000	2,906,112	△ 3,699,112	△ 397,000	△ 667,777	270,777	△ 1,190,000	2,238,335	△ 3,428,335

2. 指定管理施設運営事業（市から受託）

（１）小出ボランティアセンター

- ・利用者数 延 18,407 人（前年度 15,098 人）

（２）広神老人福祉センター

- ・利用者数 延 2,063 人（前年度 1,663 人）

（３）守門健康センター

- ・利用者数 延 1,867 人（前年度 545 人）

（４）守門高齢者居住施設

種 別	居室（室）	定員（人）	利用状況（人）
単身用	3	3	2
世帯用	1	2	0
計	4	5	2

【事業の成果】

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、行政等の指示に基づき、使用制限や感染対策等を講じながら管理運営を行いました。

【今後の課題】

指定管理者の指定を受けた公共施設で住民サービスの向上を目指した管理運営を行い、当該施設を活用して地域に密着した福祉活動や介護保険事業等の運営を一体的に行います。

指定管理施設運営事業

科 目	小出ボランティアセンター			広神老人福祉センター			守門高齢者居住		
	予算	決算	差異	予算	決算	差異	予算	決算	差異
受託金収入	5,052,000	5,052,000	0	5,300,000	5,300,000	0	5,300,000	5,300,000	0
事業収入	0	0	0	1,000	0	1,000	486,000	266,681	219,319
その他の収入	0	0	0			0			0
事業活動収入計（１）	5,052,000	5,052,000	0	5,301,000	5,300,000	1,000	5,786,000	5,566,681	219,319
人件費支出	710,000	654,670	55,330	2,082,000	2,077,398	4,602	5,430,000	4,991,782	438,218
事業費支出	8,240,000	6,330,698	1,909,302	3,866,000	3,428,947	437,053	936,000	516,707	419,293
事務費支出	237,000	82,200	154,800	280,000	279,400	600	87,000	76,320	10,680
事業活動支出計（２）	9,187,000	7,067,568	2,119,432	6,228,000	5,785,745	442,255	6,453,000	5,584,809	868,191
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	△ 4,135,000	△ 2,015,568	△ 2,119,432	△ 927,000	△ 485,745	△ 441,255	△ 667,000	△ 18,128	△ 648,872
事業区分間繰入金収入	4,135,000	2,015,568	2,119,432	0	0	0	667,000	18,128	648,872
その他の活動収入 計（７）	4,135,000	2,015,568	2,119,432	0	0	0	667,000	18,128	648,872
その他の活動支出 計（８）	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	4,135,000	2,015,568	2,119,432	0	0	0	667,000	18,128	648,872
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	0	0	0	△ 927,000	△ 485,745	△ 441,255	0	0	0

科 目	守門健康センター			計		
	予算	決算	差異	予算	決算	差異
受託金収入	7,100,000	7,100,000	0	22,752,000	22,752,000	0
事業収入	9,000	0	9,000	496,000	266,681	229,319
その他の収入	1,000	0	1,000	1,000	0	1,000
事業活動収入計（１）	7,110,000	7,100,000	10,000	23,249,000	23,018,681	230,319
人件費支出	1,453,000	1,394,443	58,557	9,675,000	9,118,293	556,707
事業費支出	5,870,000	5,381,253	488,747	18,912,000	15,657,605	3,254,395
事務費支出	372,000	367,790	4,210	976,000	805,710	170,290
事業活動支出計（２）	7,695,000	7,143,486	551,514	29,563,000	25,581,608	3,981,392
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	△ 585,000	△ 43,486	△ 541,514	△ 6,314,000	△ 2,562,927	△ 3,751,073
事業区分間繰入金収入	0	0	0	4,802,000	2,033,696	2,768,304
その他の活動収入 計（７）	0	0	0	4,802,000	2,033,696	2,768,304
その他の活動支出 計（８）	0	0	0	0	0	0
その他活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	0	0	0	4,802,000	2,033,696	2,768,304
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△ 585,000	△ 43,486	△ 541,514	△ 1,512,000	△ 529,231	△ 982,769

3. 公益受託事業

(1) 生きがい活動支援通所事業（市から受託）

高齢者の社会参加や自立的な生活の促進をすることで要介護状態になることを防ぎ、健康でいきいきとした生活を送るため、日常動作訓練・レクリエーション等を行いました。

・実利用者数

	堀之内	湯之谷	広 神	守 門	入広瀬	計	前年度
4月	9人	11人	19人	10人	3人	52人	0人
5月	9人	10人	18人	10人	3人	50人	0人
6月	8人	9人	19人	11人	3人	50人	49人
7月	10人	10人	19人	11人	3人	53人	46人
8月	10人	10人	19人	11人	3人	53人	43人
9月	11人	10人	18人	10人	3人	52人	45人
10月	10人	10人	19人	10人	3人	52人	50人
11月	10人	10人	18人	10人	3人	51人	50人
12月	9人	9人	16人	11人	2人	47人	51人
1月	9人	8人	16人	12人	2人	47人	45人
2月	8人	7人	16人	10人	2人	43人	42人
3月	8人	9人	14人	10人	2人	43人	41人

【事業の成果】

感染対策を徹底し、休むことなく事業を実施できました。また、介助員のスキルアップを目的に研修や意見交換を行いました。

【今後の課題】

介護保険制度への移行や新型コロナウイルス感染症の流行による利用自粛のため、利用者が減少しています。事業の周知や見直しも含め、市と協議・検討を進めます。

公益受託事業

単位：円

科 目	生きがい活動		
	予算	決算	差異
受託金収入	18,734,000	15,613,580	3,120,420
その他の収入	26,000	30,180	△ 4,180
事業活動収入計 (1)	18,760,000	15,643,760	3,116,240
人件費支出	10,225,000	8,599,523	1,625,477
事業費支出	8,124,000	6,151,886	1,972,114
事務費支出	211,000	181,130	29,870
事業活動支出計 (2)	18,560,000	14,932,539	3,627,461
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	200,000	711,221	△ 511,221
事業区分間繰入金収入	0	0	0
その他の活動収入 計 (7)	0	0	0
その他の活動支出 計 (8)	0	0	0
その他活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	0	0	0
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	200,000	711,221	△ 511,221

(2) 介護用品支給事業（市から受託）

在宅で寝たきりの高齢者など介護が必要な人に対し、介護用品の給付券を支給しました。

① 家族介護継続支援事業 実利用者数

	堀之内	小 出	湯之谷	広 神	守 門	入広瀬	合 計	前年度
4月	49人	41人	33人	43人	9人	8人	183人	156人
5月	61人	80人	44人	96人	40人	18人	339人	382人
6月	67人	85人	44人	89人	39人	13人	337人	399人
7月	58人	87人	41人	83人	42人	19人	330人	375人
8月	65人	94人	46人	93人	32人	17人	347人	385人
9月	61人	84人	40人	86人	31人	15人	317人	395人
10月	62人	93人	37人	83人	37人	22人	334人	389人
11月	63人	81人	43人	80人	31人	13人	311人	400人
12月	59人	74人	36人	82人	33人	17人	301人	423人
1月	58人	77人	35人	79人	34人	14人	297人	378人
2月	56人	74人	39人	72人	31人	14人	286人	396人
3月	67人	98人	41人	95人	40人	18人	359人	471人

② 家族介護用品支給事業 実利用者数

	堀之内	小 出	湯之谷	広 神	守 門	入広瀬	合 計	前年度
4月	8人	4人	2人	4人	1人	0人	19人	5人
5月	12人	15人	6人	4人	3人	3人	43人	8人
6月	9人	16人	6人	5人	4人	2人	42人	7人
7月	13人	18人	6人	6人	6人	3人	52人	8人
8月	11人	24人	7人	6人	5人	2人	55人	9人
9月	11人	12人	8人	6人	3人	0人	40人	8人
10月	13人	16人	6人	10人	5人	3人	53人	10人
11月	12人	21人	7人	8人	3人	2人	53人	8人
12月	12人	20人	5人	8人	5人	2人	52人	10人
1月	12人	20人	6人	9人	2人	2人	51人	8人
2月	13人	21人	8人	9人	4人	2人	57人	8人
3月	14人	29人	9人	11人	4人	4人	71人	13人

【事業の成果】

在宅の寝たきり高齢者、身体障害者手帳1・2級所持者で介護が必要な人に対し、給付券により介護用品の支給を行いました。また、民生委員経由で給付券を毎月配布し、利用者の状況把握にも努めました。

【今後の課題】

支援を必要とする対象者の実数を把握することは困難ですが、在宅で介護をされている家族に対する支援策として、民生児童委員や関係機関等と連絡を取りながら、引き続き事業展開をしていきます。

公益受託事業

単位：円

科 目	介護用品支給		
	予算	決算	差異
受託金収入	21,822,000	19,305,220	2,516,780
事業活動収入計 (1)	21,822,000	19,305,220	2,516,780
人件費支出	1,890,000	770,000	1,120,000
事業費支出	20,222,000	17,797,392	2,424,608
事務費支出	100,000	20,200	79,800
事業活動支出計 (2)	22,212,000	18,587,592	3,624,408
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	△ 390,000	717,628	△ 1,107,628
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△ 390,000	717,628	△ 1,107,628

(3) 生活支援コーディネーター事業（市から受託）

地域における生活支援や介護予防活動等の推進を図りました。市内の現状把握、調査、福祉関係機関等とのネットワーク作り等を重点的に推進しました。

ア 地域アセスメント

a 地域協働作業による情報の共有

- ・集落支援員、各地域包括支援センター、居宅介護事業所、民児協との情報交換。
- ・コミュニティ協議会に対し、認知症サポーター養成講座、介護技術講習の開催協力。

イ 生活支援サービス等の社会資源情報の作成

- ・堀之内地区で高齢者支援を目的とした買い物資源リストを作成。

ウ 支え合い活動の担い手養成

①元気づくりサポーター

a 元気づくりサポーターフォローアップ講習

	期 日	内 容	講師
第 1 回	10 月 15 日	・健康運動指導士による運動実技指導 ・情報交換会	NPO 法人エンジョイスポーツクラブ魚沼 健康運動指導士 星 俊寛 氏
第 2 回	11 月 5 日	・健康運動指導士による運動実技指導 ・情報交換会	

b 元気づくりサポーターの派遣に係る打合せ

	期 日	内 容	開催場所
第 1 回	8 月 23 日	・大白川運動教室実施について ・概要説明 ・話し合い（日時、当番、内容等） ・関係書類について	広神老人福祉センター
第 2 回	11 月 19 日	・脳はつらつ教室実施について ・概要説明 ・話し合い（日時、内容等） ・関係書類について	小出ボランティアセンター

c 元気づくりサポーターの派遣（大白川運動教室）

- ・派遣期間：9 月 7 日～11 月 30 日（週 1 回） 合計 12 回
- ・会 場：山菜会館
- ・参加者数：延べ 38 人

d 元気づくりサポーターの派遣（脳はつらつ教室）

- ・派遣期間：12 月 1 日～3 月 23 日（月 1 回） 合計 34 回
- ・団 体 数：9 団体
- ・参加者数：延べ 287 人

②市民講座

a セカンドライフ応援講座（生きがいとフレイル予防に関する講座）

	期 日	内 容	講 師
第 1 回	7 月 26 日	～免疫力を高める習慣～生活の中に運動を	パーソナルジム リールス 榎本隆太 氏

第 2回	8月24日	「貝の口小物入れ作り」	手もんづら有志
第 3回	9月 9日	写真の上手な撮り方講座	ヒロスイ写真館 酒井 大 氏
第 4回	9月29日	年金の知識と家計見直しのコツ	社会保険労務士法人 せきね事務所 関根 芳美 氏

b 市民セミナー

	期 日	内 容	講 師
第 1回	11月 6日	「終活」と「お金」	えんたけ行政書士 事務所 高橋 正芳 氏

エ 協議体への参加・協力

- ・魚沼市地域ケア会議 2回（8/18、2/16）
- ・魚沼市地域包括ケアシステム推進会議 2回（9/8、3/25）
- ・生活支援コーディネート事業検討会議 7回（8/2、9/27、11/26、12/21、1/17、2/22、3/29）

【事業の成果】

高齢者に必要な資源、サービスについて関係機関と情報交換をし、堀之内地区買い物資源リストが完成しました。コミュニティ協議会と情報交換を行い、地域の目指す姿に向けて共有しながら地域の弱み、強みを住民と共に考える機会が出来ました。担い手の育成ではひとりでも運動指導が出来る元気づくりサポーターが増えました。運動教室実施団体、活動したサポーター、運動教室参加延べ人数のいずれも前年度より増加しました。

【今後の課題】

生活支援体制整備事業の各関係者と連携を深めネットワーク作りを強化します。全ての高齢者が生き生きと暮らしていくためによりニーズに沿った買い物資源リストの作成を検討します。元気づくりサポーターの本来の目的を関係者で再確認し、サポーターへ意識の醸成を図ります。歩いて行ける範囲で活躍できるよう活動の仕組みを整理します。

公益受託事業

単位：円

科 目	生活支援コーディネート		
	予算	決算	差異
受託金収入	5,690,000	5,690,000	0
事業活動収入計 (1)	5,690,000	5,690,000	0
人件費支出	4,887,000	4,887,000	0
事業費支出	1,318,000	881,030	436,970
事務費支出	514,000	55,120	458,880
事業活動支出計 (2)	6,719,000	5,823,150	895,850
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	△ 1,029,000	△ 133,150	△ 895,850
事業区分間繰入金収入	1,029,000	133,150	895,850
その他の活動収入 計 (7)	1,029,000	133,150	895,850
その他の活動支出 計 (8)	0	0	0
その他活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	1,029,000	133,150	895,850
予 備 費 (10)	0	0	0
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	0	0	0

(4) 軽度生活支援事業（市から受託）

自立した在宅生活の継続を図るため、在宅で日常生活上の援助を必要とする、概ね65歳以上の高齢者世帯等に対して、軽易な日常生活上の援助を行いました。

利用者数、派遣回数はそれぞれ前年比△11%、△15%でした。

① 生活援助事業（訪問介護事業所）

	本拠地			守門・入広瀬			全体		
	実績	前年度	比較	実績	前年度	比較	実績	前年度	比較
利用者数	146	156	△ 10	25	37	△ 12	171	193	△ 22
派遣回数	505	579	△ 74	85	114	△ 29	590	693	△ 103
派遣時間	441.5	512.0	△ 70.5	85.0	112.0	△ 27.0	527	624	△ 97.5

【事業の成果】

介護保険を利用するほどではなく、軽易な日常生活の支援があれば現状を維持できる方に、在宅生活の継続を図るためヘルパーが訪問することで、状態の維持を保つことが出来ました。

【今後の課題】

現状を維持しながら在宅生活が継続できるように、自立支援、重度化防止に向けた取り組みを継続していきます。

② 除雪援助事業

ア 利用実績

地 区	利用件数		合 計	前年度利用件数		合 計
	屋根雪	門払い		屋根雪	門払い	
堀之内	16 件	22 件	38 件	19 件	21 件	40 件
小 出	17 件	19 件	36 件	16 件	17 件	33 件
湯之谷	14 件	22 件	36 件	17 件	21 件	38 件
広 神	12 件	24 件	36 件	12 件	24 件	36 件
守 門	23 件	39 件	62 件	25 件	42 件	67 件
入広瀬	11 件	19 件	30 件	13 件	22 件	35 件
合 計	93 件	145 件	238 件	102 件	147 件	249 件

イ 個人作業登録者数

地 区	登録者数		合 計	前年度登録者数		合 計
	屋根雪	門払い		屋根雪	門払い	
堀之内	17 件	20 件	37 件	17 件	18 件	35 件
小 出	19 件	17 件	36 件	20 件	15 件	35 件
湯之谷	12 件	26 件	38 件	14 件	26 件	40 件
広 神	17 件	24 件	41 件	16 件	23 件	39 件
守 門	28 件	36 件	64 件	25 件	40 件	65 件

入広瀬	10件	16件	26件	11件	15件	26件
市 外	3件	1件	4件	2件	1件	3件
合 計	106件	140件	246件	105件	138件	243件

ウ 豪雪災害対策に係る除雪業務【屋根雪除雪または門払い 1回のみ】

(2月24日～3月5日)

	堀之内	小 出	湯之谷	広 神	守 門	入広瀬	合 計
利用件数	29件	23件	36件	29件	30件	19件	166件

【事業の成果】

高齢者世帯等要援護世帯を対象に屋根雪除雪と門払いの支援を行い、冬期間在宅での自立した生活の継続につながりました。また、豪雪による家屋倒壊等災害被害の防止が出来ました。

【今後の課題】

在宅生活が継続できるよう現状の取り組みを継続するとともに、降雪量によりサービスの需給に影響が生じる事業のため、大雪時でも対応が出来るよう、除雪作業員の人材確保に向け関係機関と調整を図ります。

公益受託事業

単位:円

科 目	除雪援助			生活介護			計		
	予算	決算	差異	予算	決算	差異	予算	決算	差異
受託金収入	17,500,000	14,596,345	2,903,655	1,582,000	1,369,847	212,153	19,082,000	15,966,192	3,115,808
事業活動収入計 (1)	17,500,000	14,596,345	2,903,655	1,582,000	1,369,847	212,153	19,082,000	15,966,192	3,115,808
人件費支出	15,633,000	12,748,774	2,884,226	1,582,000	1,369,847	212,153	17,215,000	14,118,621	3,096,379
事業費支出	1,867,000	1,654,268	212,732	0	0	0	1,867,000	1,654,268	212,732
事務費支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事業活動支出計 (2)	17,500,000	14,403,042	3,096,958	1,582,000	1,369,847	212,153	19,082,000	15,772,889	3,309,111
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	0	193,303	△ 193,303	0	0	0	0	193,303	△ 193,303
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	0	193,303	△ 193,303	0	0	0	0	193,303	△ 193,303

Ⅲ. 収益事業

1. 会館運営事業

会館の利用許可及び施設の維持管理に関する業務を行いました。

(1) 小出ボランティアセンター

貸館の状況は、Ⅱ 公益事業 2. 指定管理施設運営事業の項目に記載

(2) 広神老人福祉センター

貸館の状況は、Ⅱ 公益事業 2. 指定管理施設運営事業の項目に記載

(3) 守門健康センター

貸館の状況は、Ⅱ 公益事業 2. 指定管理施設運営事業の項目に記載

【事業の成果】

『Ⅱ. 公益事業』、『2. 指定管理施設運営事業』に記載。

【今後の課題】

『Ⅱ. 公益事業』、『2. 指定管理施設運営事業』に記載。

会館運営事業

科 目	小出ボランティアセンター			広神老人福祉センター			守門健康センター		
	予算	決算	差異	予算	決算	差異	予算	決算	差異
事業収入	700,000	737,730	△ 37,730	1,000	0	1,000	1,000	6,050	△ 5,050
その他の事業収入	2,000	0	2,000	0	0	0	0	0	0
事業活動収入計 (1)	702,000	737,730	△ 35,730	1,000	0	1,000	1,000	6,050	△ 5,050
事業費支出	670,000	705,730	△ 35,730	1,000	0	1,000	1,000	6,050	△ 5,050
事務費支出	32,000	32,000	0	0	0	0	0	0	0
事業活動支出計 (2)	702,000	737,730	△ 35,730	1,000	0	1,000	1,000	6,050	△ 5,050
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	0	0	0	0	0	0	0	0	0

科 目	計		
	予算	決算	差異
事業収入	702,000	743,780	△ 41,780
その他の事業収入	2,000	0	2,000
事業活動収入計 (1)	704,000	743,780	△ 39,780
事業費支出	672,000	711,780	△ 39,780
事務費支出	32,000	32,000	0
事業活動支出計 (2)	704,000	743,780	△ 39,780
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	0	0	0

【資料編】

1. 会 員

(1) 会員数 一般会員 8,425 人 特別会員 315 人

2. 役員・評議員・委員会・部会

(1) 役員（理事6名以上 13 名以内・監事 2 名以内）

任 期 令和 3 年 6 月 11 日～令和 5 年 6 月定時評議員会終結の時まで

役職名	氏 名	選 出 区 域 等	備 考
会 長	穴沢 邦男	魚沼市内区域	地域の代表
副会長	八木 兵司	魚沼市内区域	地域の代表 令和 3 年 6 月 10 日まで
副会長	林 悦子	魚沼市内区域	地域の代表 令和 3 年 6 月 10 日まで
副会長	中村由美子	魚沼市内区域	地域の代表 令和 3 年 6 月 11 日から
副会長	森山 正昭	魚沼市内区域	地域の代表 令和 3 年 6 月 11 日から
理 事	津山 幸男	魚沼市内区域	地域の代表
理 事	高橋 富榮	地域の福祉団体	魚沼市民生委員児童委員協議会
理 事	小笠原都々子	地域の福祉団体	魚沼市ボランティア連絡協議会
理 事	吉田 正樹	魚沼市内社会福祉法人	魚沼更生福祉会
理 事	関間 信好	魚沼市内社会福祉法人	魚沼福祉会
理 事	森山 正昭	地域の団体	中央公民館館長 令和 3 年 6 月 10 日まで
理 事	小島 勉	行政職員	魚沼市市民福祉部 副部長
監 事	瀧澤 博忠	学識経験者	
監 事	滝澤 直行	計算書類を監査し得る者	

(2) 評議員（7 名以上 20 名以内）

任 期 令和 3 年 6 月 11 日～令和 7 年 6 月度定時評議員会終結の時まで

氏 名	区域、所属機関団体等	備 考
下村真由美	堀之内コミュニティ協議会	
滝沢 茂	宇賀地コミュニティ協議会	
小岩 妙子	小出北部コミュニティ協議会	
小林 進	佐梨地区コミュニティ協議会	
三友 武久	湯之谷地区自治会長会	

酒井 豊	広神地区区長会	
大塩 安弘	広神地区区長会	
櫻井 鉄夫	守門地区区長会	
浅井 宏一	入広瀬区長会	
和久井善之	新潟県司法書士会	
星野 正人	魚沼市老人クラブ連合会	
星 京子	魚沼市食生活改善推進員協議会	
中川 久幸	魚沼ものづくり振興協議会	
横山美智子	魚沼市商工会連絡協議会	

(3) 委員会、部会

① 企画調整委員会

任 期 令和元年6月14日～令和3年6月10日まで

役 職 名	氏 名	備 考
委 員	穴沢 邦男	
委 員	八木 兵司	
委 員	林 悦子	

任 期 令和3年6月11日～令和5年6月定時評議員会終結の時まで

役 職 名	氏 名	備 考
委 員	穴沢 邦男	
委 員	中村由美子	
委 員	森山 正昭	

① 評議員選任・解任委員会（4名）

任 期 令和3年6月11日～令和7年6月定時評議員会終結の時まで

役 職 名	氏 名	備 考
委 員	佐藤ひろみ	
委 員 長	大淵 好文	
委 員	瀧澤 博忠	
委 員	下村 耕平	

③ 生活福祉資金貸付調査委員会委員（8名）

任 期 令和2年6月1日～令和4年5月31日

役職名	氏 名	役職、所属機関団体等	備 考
委 員 長	佐藤ムツエ	湯之谷地区民児協	
委 員	関 誠	堀之内地区民児協	
委 員	鈴木 虚子	小出地区民児協	

委 員	櫻井ミネ子	広神地区民児協	
委 員	齋藤 松永	守門地区民児協	
委 員	佐藤ミツイ	入広瀬地区民児協	
委 員	坂大 聡	市福祉支援課	
委 員	下村 耕平	魚沼市社会福祉協議会	

④ 第三者委員（3名）

任 期 令和2年6月1日～令和4年5月31日

氏 名	役職、所属機関団体等	備 考
和久井善之	本会評議員	
瀧澤 博忠	本会監事	
青木 悟	学識経験者	

⑤ 法人後見事業運営委員会委員（7名）

任 期 令和3年4月1日～令和5年3月31日

役職名	氏 名	所 属	備 考
委 員 長	黒岩 海映	新潟県弁護士会 高齢者・障害者の財産管理・権利擁 護支援センター	弁護士
副委員長	枝村 英一	公益社団法人 新潟県社会福祉士 会	社会福祉士
委 員	関 丈 祐	成年後見センター リーガルサポート新潟県支部	司法書士
委 員	稲月 原	小千谷市魚沼市医師会	医師
委 員	戸田千穂子	魚沼市市民福祉部	介護福祉課長
委 員	星 孝子	魚沼市市民福祉部	福祉支援課長
委 員	下村 耕平	魚沼市社会福祉協議会	事務局長

3. 職員

（令和4年3月末現在 149人 内訳 職員・准職員74人、臨時職員等75人）

・事務局長	1人	・居宅介護支援部門	9人
・総務課	8人	・通所介護部門	60人
・地域福祉課	26人	・訪問介護部門	23人
・介護福祉課	4人	・受託事業部門	18人

4. 会議

(1) 理事会

	期 日	議案内容等	会 場
第1回	5月26日	・会長諸報告、会長専決事項報告 ・令和2年度社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会事業報告及び令和2年度社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会収入支出決算の承認について ・社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会評議員候補者の推薦について ・社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会理事候補者の推薦について ・社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会監事候補者の推薦について ・令和3年度社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会定時評議員会の招集について	小出ボランティアセンター
第2回	6月11日	・令和3年度社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会定時評議員会報告 ・社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会会長及び副会長の選定について ・社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会委員の選任について	小出ボランティアセンター
第3回	7月2日	・社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会本部事務局等について ・堀之内社会福祉センターの概要	小出ボランティアセンター
第4回	8月12日	・社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会事務局移転に関する整理と当面の方針について	小出ボランティアセンター
第5回	9月15日	・会長諸報告、会長専決事項報告 ・社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会事務局に関する方針についての説明会について ・社会福祉法人魚沼市社会事務局に関する方針及び旧広神庁舎の利活用に係る回答について	小出ボランティアセンター
第6回	11月25日	・会長諸報告、会長専決事項報告 ・社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会中期経営計画変更計画について ・令和3年度上半期魚沼市社会福祉協議会事業報告及び中間監査について ・令和3年度社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会収入支出補正予算（第1次）（案）につ	小出ボランティアセンター

		いて ・社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会表彰の被表彰者の決定について ・令和3年度社会福祉法人魚沼市社会協議会臨時評議員会の招集について	
第7回	3月17日	・会長諸報告、会長専決事項報告 ・社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会発展・強化計画の策定について ・令和3年度社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会収入支出補正予算（第2次）（案）について ・令和4年度社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会事業計画（案）及び令和4年度社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会収入支出予算（案）について ・社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会理事候補者の推薦について ・役員等賠償責任保険契約の内容の決定について ・令和3年度社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会臨時評議員会の招集について	小出ボランティアセンター

(2) 評議員会

	期 日	議案内容等	会 場
定時	6月11日	・会長諸報告 ・社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会評議員選任解任委員会報告 ・令和2年度社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会事業報告及び令和2年度社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会収入支出決算の承認について ・社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会理事の選任について ・社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会監事の選任について	小出ボランティアセンター
第1回臨時	12月3日	・会長諸報告 ・令和3年度上半期社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会事業報告について ・令和3年度社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会会費収納状況（中間）について ・令和3年度県共同募金会魚沼市共同募金委員会共同募金運動の実績（中間）について	小出ボランティアセンター

		・社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会中期経営変更計画（案）について ・令和3年度社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会収入支出補正予算（第1次）（案）について	
第2回 臨時	3月28日	・会長諸報告 ・社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会発展・強化計画の策定について ・令和3年度社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会会費収納状況について ・令和3年度県共同募金会魚沼市共同募金委員会共同募金運動の実績について ・令和3年度社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会収入支出補正予算（第2次）（案）について ・令和4年度社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会事業計画（案）及び令和4年度社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会収入支出予算（案）について ・社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会理事の選任について	小出ボランティアセンター

（3）委員会・部会

① 企画調整委員会

	期 日	内 容	会 場
第1回	5月17日	・新型コロナウイルス感染について情報交換 ・令和3年度社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会会費の収納について ・令和3年度社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会理事会案について	小出ボランティアセンター
第2回	7月2日	・本部事務局等について	小出ボランティアセンター
第3回	7月30日	・本部事務局等について ・再任用制度について ・中期経営計画変更計画について ・第2次中期経営計画（仮称）の策定について ・老人福祉大会について	小出ボランティアセンター
第4回	8月12日	・本部事務局等について ・中期経営計画変更計画について	小出ボランティアセンター
第5回	9月10日	・中期経営計画変更計画について ・事務局に関する方針説明会について	小出ボランティアセンター

		・伊米ヶ崎デイサービスセンター営業日の変更について ・発展強化計画について	
第6回	11月17日	・社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会第6回理事会議案について ・社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会第2次中期経営（仮称）の策定について	小出ボランティアセンター
第7回	12月7日	・社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会第2次中期経営（仮称）の策定について	小出ボランティアセンター
第8回	2月9日	・社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会第2次中期経営（仮称）の策定について ・令和4年度職員体制について	小出ボランティアセンター
第9回	3月10日	・社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会第1次発展・強化計画の策定について ・第7回理事会議案について	小出ボランティアセンター

② 評議員選任・解任委員会

	期 日	内 容	会 場
第1回	5月28日	・魚沼市社会福祉協議会評議員の選任について	小出ボランティアセンター

5. 組織機構図

